

デジタルビデオレコーダ

PDR-AHD2100 シリーズ

4・8・16 チャンネル機共通

設置・取扱説明書

Ver FullHD DVR-1.1(A01)_J1.03_W

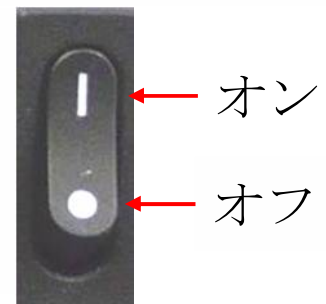
対応 APP Ver. R7511, R7572, R7669

Web 公開用

本機には、電源スイッチがあります

本機の背面パネルには、電源スイッチがあります。

電源を接続したら、電源スイッチを『オン』にしてください。



- この度は、デジタルビデオレコーダをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前に、この設置・取扱説明書をお読みいただき、製品の機能や操作法について、十分ご理解いただいた上で、正しく使用していただきますよう、お願い致します。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう、分かりやすい場所に保管してください。
- サードパーティー製のカメラ・モニタ・警報装置およびコンピュータ等を接続する場合、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

目次

I	各部の名称とはたらき	10
1	前面パネル.....	10
2	背面パネルコネクタ	11
3	マウス操作.....	13
4	リモートコントローラ	14
5	バーチャルキーパッド	19
6	設置 & 接続.....	19
1	カメラ、モニタ、音声、アラームセンサー及び電源コード.....	20
2	電源の入／切と再起動.....	20
3	ネットワーク接続用 PC のシステム条件	21
4	ネットワークの推薦条件	22
II	クイックスタート 7.....	23
III	ライブ監視	25
1	表示概要	25
1	映像信号形式（ビデオフォーマット）	25
2	録画モード.....	26
3	イベントインジケータ.....	26
4	ステータスバー.....	26
2	分割画面表示および画面自動切り替え	28
3	リモコンによる分割モード変更	29
4	画面移動	29
5	ズーム.....	30
IV	基本操作	32
1	ログイン・ログアウト	32
2	メニューの基本操作.....	33
V	設定	34
1	画面	34
1	一般	35
2	画面自動切替設定.....	35
3	イベント	36
2	カメラ.....	40
3	録画	44
1	一般	44
2	モード（録画モード設定）.....	45

3	デイ	47
4	デイイベント	49
5	ナイト	51
6	ナイトイベント	52
4	予約録画	53
1	予約録画設定	53
2	休日設定	56
5	ディスク	57
1	ディスク管理	57
2	録画用ディスク	59
3	<i>S.M.A.R.T</i> 情報	60
6	ネットワーク	60
1	<i>IP</i> 設定	61
2	一般	61
3	<i>E</i> メール	63
4	<i>SMTP</i>	64
5	<i>DDNS</i> (ダイナミック <i>DNS</i>)	65
6	ホストリスト	67
7	デバイス	68
1	一般	68
2	画面	69
3	アラーム	71
4	<i>PTZ</i> イベント	73
8	システム	74
1	一般	74
2	日時設定	75
3	ユーザーアカウント	76
4	アップデート	77
5	詳細設定	80
6	システム情報	82
VI	パンチルトズームと UTC 制御	84
1	<i>PTZ</i> メニュー	84
1	マウスによる <i>PTZ</i> 操作	85
2	リモコンによる <i>PTZ</i> 操作	86
2	プリセット & ツアー	87
1	ツアーグループ	87
3	カスタム機能	89
4	UTC	89

VII	再生 検索.....	90
1	再生.....	90
2	時間検索.....	90
3	イベント選択.....	92
4	プレビューサーチ.....	93
5	GOTO SEARCH（日時入力検索）.....	93
6	ログリスト検索.....	94
1	ログ情報の詳細.....	94
VIII	バックアップ.....	96
1	手動バックアップ.....	96
1	バックアップ期間の簡単な指定方法.....	97
2	手動バックアップデータの再生.....	99
2	自動バックアップ(FTP).....	101
3	ログリストのバックアップ.....	103
IX	仕様.....	105
X	付録.....	107
1	録画可能日数の計算.....	107
2	故障かな？と思ったら.....	109
3	カメラ録画解像度対応表.....	112

免責事項

- この設置・取扱説明書に記載された情報は、発行時点のものです。仕様及び性能は予告なく変更される場合があります。また、これらの変更のために、より新しい設置・取扱説明書が発行される場合があります。
- デジタルビデオレコーダ、ソフトウェア、ハードディスク、パソコン周辺機器等の操作ミスや故障及びサポート対象外の機器を接続したこと等による故障・損傷またはデータ消失によって、結果的に生じる損害を弊社は保障できません。
- 弊社は、本機を日本国内での使用を前提として輸入・販売しております。本機を海外でご使用になった場合の、故障や事故に関し、弊社は一切の責任を負わないものとします。

警告

- 本機の通気孔を塞がないでください。器具の過熱防止のため、通気孔の周囲は最低 5 c m空けてください。
- 本機の中に金属部品を入れないでください。本機に回復不能な損害を与える恐れがあります。もし入れてしまった場合は、直ちに電源を切りコンセントから AC アダプターまたは電源プラグを抜いてください。そしてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機及び付属品の AC アダプター等の分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり、大変危険です。修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 煙・蒸気または異臭を感じた場合は、火災や感電を防止するため、直ちに機器の使用を中止し、AC アダプターまたは電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、煙や蒸気が止まったことを必ず確認し、販売店にご相談ください。
- 本機やその付属品に重い物を落すなどしてケースやコードが変形・破損した場合は、直ちに使用を中止し、衝撃や振動を与えないようにしてください。次に、火災や感電を防止するため、直ちに AC アダプターまたは電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 本機や AC アダプターに水などの液体を入れないでください。DVR や AC アダプターは防水ではありません。液体がかかった場合や潮風で汚れた場合は、乾いた柔らかい吸水性の良い布で拭いてください。水または異物が入った場合には、直ちに使用を中止し、AC アダプターまたは電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあり、危険ですので販売店にご相談ください。
- 火災の恐れがありますので、本機や AC アダプターのお手入れにアルコール・ベンゼン・シンナーなどの燃えやすい物質を使用しないでください。日常のお手入れは乾いた布で拭くようにしてください。また、埃・湿気・油の多い環境での使用は火災やショートの原因があるので避けてください。
- AC アダプターのコードに重い物を乗せたり切断したり傷つけたり改造したりしないでください。これらは火災・ショート・感電の原因になることがあります、大変危険です。
- 感電の恐れがありますので濡れた手で本機や本機の電源コードや AC アダプターに触れないでください。AC アダプターまたは電源プラグをコンセントから抜くときは、筐体またはプラグを持って抜いてください。火災・感電・故障などの恐れがありますので、コードを持って引き抜かないでください。
- 電源は、付属の AC アダプターをご使用ください。本機に他の電源を使用した場合、火災・感電・

過熱・装置の変形等の恐れがあります。

- 本機の AC アダプターで、接地用口出し線の付いた電源コードが付属している製品では、万一の感電予防のため、必ず保護接地(アース)接続を実施してください。

保護接地接続の方法が分からない場合は、お近くの電気工事士の資格を持った電気工事店にご相談されることをお勧めいたします。

< 重 要 >

本機の設置工事・撤去工事業者の方は、お客様並びに作業者の万一の感電事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください。

- 本機のご使用に当たっては D 種接地工事(接地抵抗 100Ω 以下)が必要です。
- 本機の AC アダプターは、絶縁保護クラス I 機器ですが、付属の電源コードをご使用になる場合、接地用口出し線付の 2 ピンプラグを使用しておりますので、クラス 0 I 機器とみなされます。従いまして以下の注意事項をお守りください。
 1. 本機の設置工事をする場合は、安全確保のため、電源プラグをコンセントに差し込む前に保護接地接続を実施してください。
 2. 本機の撤去工事をする場合は、保護接地接続を外す前に電源プラグをコンセントから抜いてください。

なお、大掃除などで、お客様自身が電源コードの抜き差しを行う場合も、必ず上記の順序に従って作業していただきますようお願いいたします。

- 液漏れ・火災・感電・破裂等により重症を負う恐れがありますので、電池を熱源の近くに置いたり、炎や熱に直接さらしたり、水中に沈めたりしないでください。
- 破裂の恐れがあり大変危険なので、電池の加熱や分解をしようとししないでください。電池の液が体（目や口に入った場合も）や衣類に付着した場合、すぐに流水で洗い流してください。また、液が目や口に入った場合は速やかに医師に相談してください。
- 電池に強い衝撃を与えることや落下させることは避けてください。液漏れや怪我の原因になることがあります。
- キーホルダーのような金属物で電池端子をショートさせないでください。過熱や火傷、その他の傷害の原因になることがあります。
- 付属の AC アダプターは、この DVR 専用に設計されています。火災などの恐れがありますので、他の製品や電池の充電等に使用しないでください。

注意

- 指定された温度・湿度または電源定格を超える状態で装置を運用しないでください。
温度：0～40℃ 湿度：90%以下(結露しないこと)
AC アダプターの定格電圧：AC100～240V 50/60Hz
- コンセントは装置の近くに設置し、容易に抜き差しできる状態にしてください。

故障を防ぐために

- 強い磁界を避けてください。電気モーターやブラウン管テレビの近くなど強い電磁界を発生する装置の近くに本機を置かないでください。強い磁界にさらされると、装置の故障や画像データが壊れることがあります。
- 結露を避けてください。急激な温度差のある環境に装置を移動すると装置の内部または外部に結露を生じることがあります。これを避けるには、予め装置をジッパー付のビニール袋に入れて密封しておき、その状態で移動した後、移動先の温度に馴染ませてから袋を外してください。
- デジタルビデオレコーダ内部に結露を生じた場合は、直ちに装置の使用を止めてください。使用を続けると、故障の原因になることがあります。コンセントから AC アダプターまたは電源プラグを抜き、装置が完全に乾燥するのを待ってください。
- リモコンの電池を交換される場合は、**単4形** 乾電池をご購入ください。

凡例

凡例	説明
「画面」設定	設定名称は「カギカッコ」を付けて記述します。
メニュー→設定→画面	メニュー階層を示す場合、各階層の名称に 囲み線 を付けて記述します。
設定 タブ	メニュー内のタブの名称は 囲み線 を付けて記述します。
開始 ボタン	ボタンの名称は 囲み線 を付けて記述します。
参照→60 ページ	この設置・取扱説明書に記述された関連項目の参照先を示します。
10	設定メニューの 強調 されている部分は初期設定値を意味します。
<情報>	知っておくと便利な機能や操作方法について説明します。
<注意>	操作や設定をする際に注意していただきたい事を説明します。
リモコン	本書内の多くの部分では「リモートコントローラ」を「リモコン」と略称で記述します。

梱包品の確認

パッケージと中身に破損がないか確認してください。部品が足りない場合や破損している場合は、すぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。なお、梱包材は本機を再び輸送するとき（引越しや修理）のために、大切に保管してください。




品名	数量			備考
	PDR-AHD2104 4ch 機	PDR-AHD2108 8ch 機	PDR-AHD2116 16ch 機	
デジタルビデオレコーダ	1	1	1	本体
クライアントソフトウェア CD	1	1	1	
リモートコントローラ	1	1	1	
電池 (単 4 形乾電池)	2	2	2	
電源コード	1	1	1	
AC アダプター	1 (12V 5A)	1 (12V 5A)	1 (12V 5A)	
設置・取扱説明書	1	1	1	本書
マウス	1	1	1	

本機の特長とそれに伴うご注意

本機はAHDフォーマットによるアナログ高解像度カメラ（1080p / 30fps 及び 720p / 30fps）と従来のSDフォーマットの2つの方式の3種類の解像度のカメラに対応しております。これにより、従来のNTSC方式のインフラを利用しながら、高解像度システムへの低コストでのスムーズな移行が可能となっております。

● ビデオフォーマットについて

本機は、720P（AHD 1.0）と1080P（AHD 2.0）及びSDの3種類のビデオフォーマットのカメラに対応しており、入力された信号を自動的に識別して表示します。接続されたそれぞれのカメラの方式と解像度は、必要に応じてそれぞれのチャンネルのライブ映像の右上にアイコンで表示させることができます。

アイコン	入力映像信号の種類
	1080PのAHD方式の映像信号が入力されていることを示します。
	720PのAHD方式の映像信号が入力されていることを示します。
	SD方式の映像信号が入力されていることを示します。
<情報> 解像度の表示と非表示を切り替えるには「画面」設定で、「カメラ情報」の「解像度」のチェックボックスを変更してください。 メニュー→設定→画面→一般→カメラ情報 参照→35 ページ	

<注意>

- ビデオフォーマットを示すアイコンが表示されているにもかかわらず、ビデオロスアイコンが表示される場合、カメラのビデオモードがPALモードになっていないか、ご確認ください。
弊社のAHDカメラの場合、メニューノブを下方向（方向表示「D」）に4秒間長押ししていただくとNTSCモードに戻すことができます。（同じ操作を繰り返すことでNTSCモードとPALモードが交互に切り替わります）
- AHD方式のカメラを接続しているにもかかわらず、SDアイコンが表示されている場合は、AHDカメラがSDフォーマットになっていないかご確認ください。
弊社のAHDカメラの場合、メニューノブを右方向（方向表示「R」）に4秒間長押ししていただくとAHDフォーマットに戻すことができます。再びSDモードにするには、メニューノブを左方向（方向表示「L」）に4秒間長押しします。
- AHDフォーマットにおけるNTSCモード及びPALモードとは、垂直周波数の違いを区別するための便宜上の表記であり標準テレビジョン方式のNTSC及びPALを意味するものではありません。（SDフォーマットの状態ではNTSCとPALの切換えとして動作します）

● 画面のアスペクト比（縦横比）について

本機の HDMI 及び VGA 出力はアスペクト比（縦横比）の制御には対応しておりません。利用するカメラのアスペクト比に合わせてモニタの設定で調整していただく必要があります。

従いまして、アスペクト比が 16:9 の AHD フォーマットのカメラと、アスペクト比が 4:3 の NTSC フォーマットのカメラを混在使用した場合、モニタの設定をどちらに合わせるかによって正しいアスペクト比で表示されないチャンネルが発生します。

	モニタのアスペクト比が 16:9	モニタのアスペクト比が 4:3
AHD カメラ	正しいアスペクト比で表示される	縦長の映像が表示される
SD (NTSC) カメラ	横長の映像が表示される	正しいアスペクト比で表示される

● カメラ映像伝送路で利用可能な機器の制限

AHD フォーマットのカメラには、従来の SD (NTSC) フォーマットで利用していた同軸ケーブルやコネクタがそのまま利用できますが、映像分配器等の信号伝送に電子回路を利用するような装置については AHD フォーマットに対応した製品しか利用できません。

<注意>

- AHD 用の伝送機器の中には 720P (AHD 1.0) にのみ対応する製品もありますので、1080P (AHD 2.0) のカメラを使用される場合、特にご注意ください。

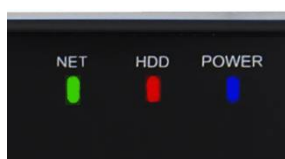
I 各部の名称とはたらき

1 前面パネル



1. モード・インジケータ

3 個の LED が本機の状態を表示します。



POWER (青)：電源が供給されていて電源スイッチがオンのときに点灯します。

HDD (赤)：HDD アクセス中に点滅します。

NET (緑)：遠隔接続中に点灯します。

2. リモコン受信部

リモコンからの信号を受信するための赤外線センサーです。この部分を塞がないでください。



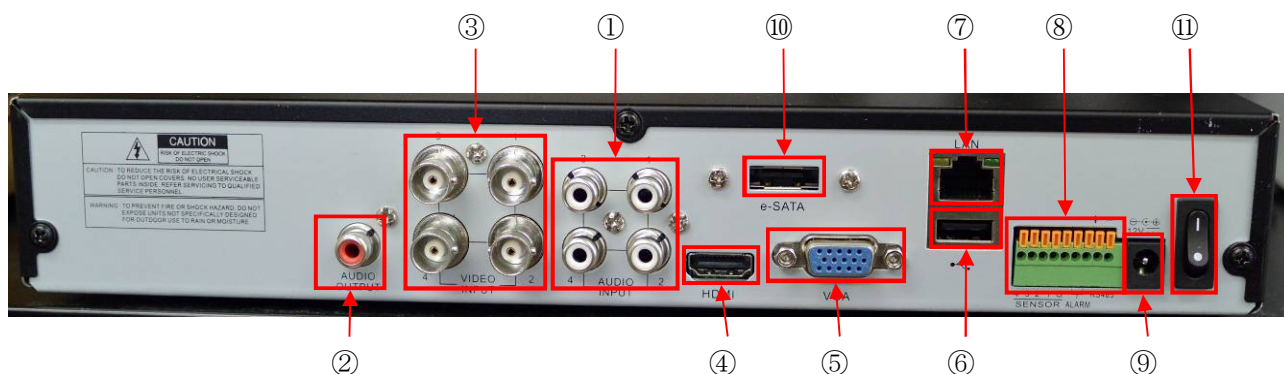
3. USB ポート

マウスやバックアップ用の記憶装置（USB メモリーや HDD）を接続できます。

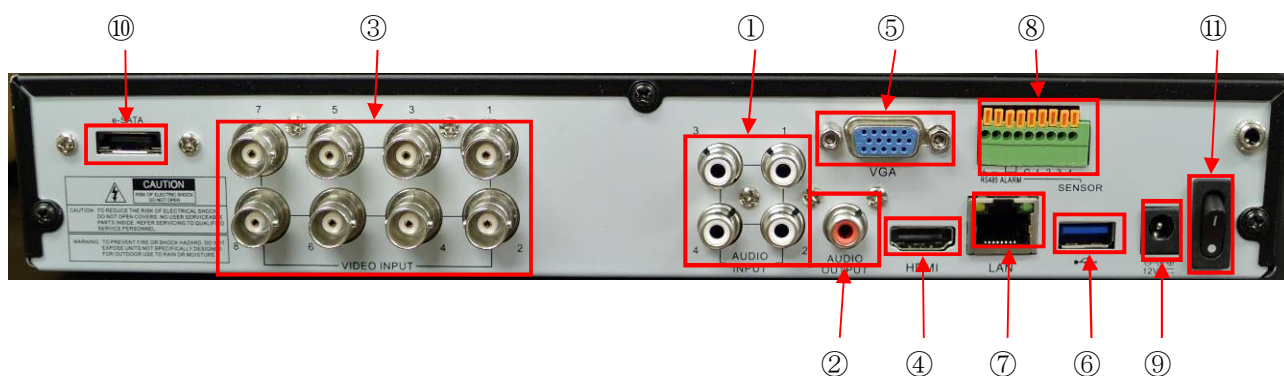


2 背面パネルコネクタ

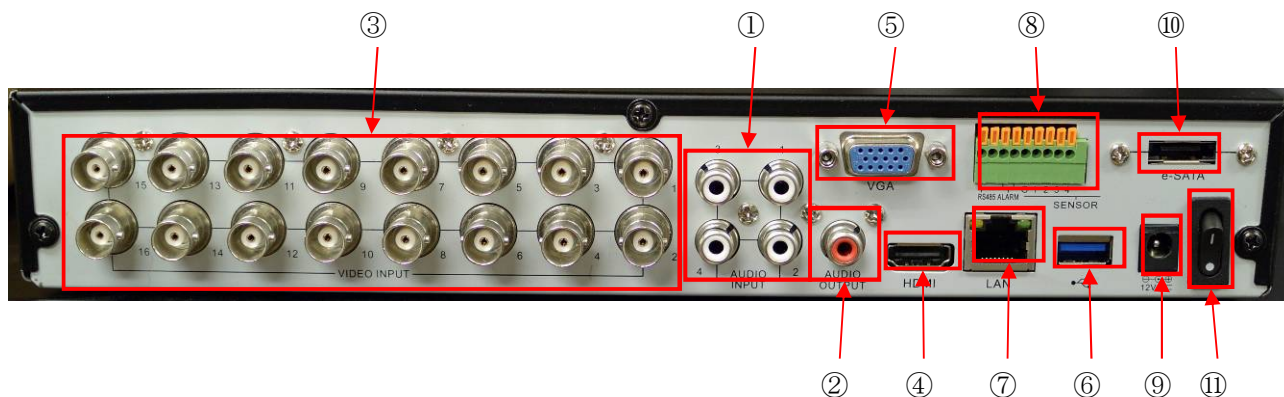
<4チャンネル機>



<8チャンネル機>



<16チャンネル機>



1) AUDIO IN (RCA)

映像入力チャンネル数に関係なく 4 チャンネルの音声入力があります。それぞれの音声入力チャンネルは選択したひとつの映像チャンネルに割り当てることができます。

<情報>

- 音声を録音するには、「録画」設定で対応する録画チャンネルの「音声」を「オン」に設定する必要があります。**工場出荷時には全チャンネル「オフ」に設定されています。**

メニュー→設定→録画→デイ/ナイト

参照→47 ページ

- 録画チャンネルに対する音声チャンネルの割り当ては「デバイス」メニューでおこないます。

メニュー→設定→デバイス→一般→音声設定

参照→68 ページ

- 映像チャンネルと音声チャンネルは、**必ず 1 対 1 で割り当てる**必要があります。複数の映像チャンネルに一つの音声チャンネルを割り当てること及び一つの映像チャンネルに複数の音声チャンネルを割り当てることは出来ません。

2) AUDIO OUT (RCA : 1ch)

再生時に選択したチャンネルの音声を出力します。ただし、双方向オーディオ機能を使用する設定になっている場合、遠隔監視ソフトウェアからの音声優先されます。

<注意>

- ハウリング防止のため、ライブ音声は出力されません。
- 双方向オーディオ機能を使用される場合、ハウリングやエコーが発生しないよう、設置工事と使用には十分にご注意ください。
- ネットワーク経由の音声は、通信状態によって断続することがあります。

3) VIDEO IN (BNC : 4, 8, 16ch)

カメラを接続するための映像入力です。

4) HDMI

HDMI または DVI 方式に対応したモニタを接続できます。本機とモニタの相性によって HDMI 出力の映像が利用できない場合は、VGA で接続するようにしてください。映像は VGA と同じです。

<注意>

- 本機は HDMI に音声を出力することは出来ません。
- 「デバイス」メニュー内で「HDMI 自動」がチェックされている場合、VGA 出力と異なる解像度の信号を出力する場合があります。

5) VGA

パソコン用のモニタ (アナログ) を接続できます。本機とモニタの相性によって VGA 出力の映像が利用できない場合は、HDMI で接続するようにしてください。映像は HDMI と同じです。

6) USB

マウスやバックアップ用の記憶装置 (USB メモリーや HDD) を接続できます。

7) LAN (RJ-45)

本機の遠隔監視、時刻同期等、ネットワークを利用する機能を使用する場合には、LAN ケーブルで TCP/IP ネットワークに接続してください。

<注意>

ネットワークを利用する機能を使用するには、それらに合わせた設定作業が必要です。LAN ケーブルを接続するだけでは、これらの機能を使用することはできません。
また、ルータやパソコン等、周辺機器の設定やソフトウェアのインストール等も必要です。

8) SENSOR / ALARM / RS422

4 系統のアラーム用センサー入力 / 1 系統のアラーム用リレー出力 / 1 系統の PTZ 制御用 RS422 制御出力

9) POWER

DC 電源ジャックです。付属の専用 AC アダプターを接続します。

<注意>

- 電源装置は必ず付属の専用 AC アダプターをご使用ください。付属以外の電源装置を使用した場合、火災、感電、火傷等の恐れがあり、大変危険です。
- 12V のカメラ用電源装置から本機の電源を供給しないでください。(動作不良や HDD 故障の原因になる場合があります)
- AC アダプターが故障や損傷した場合は、本機をご購入いただいた販売店から専用の AC アダプターをご購入ください。
- AC アダプターの DC コードを延長しないでください。コードを延長する必要がある場合は AC 側でおこなってください。(動作不良や HDD 故障の原因になる場合があります)
- 付属以外の電源装置を使用した場合に発生した故障は、保証期間内であっても有償修理とさせていただきます場合や、修理不可能となる場合があります。

10) e-SATA

e-SATA インターフェースを持つ HDD を接続することで、録画用 HDD を増設することが出来ます。

11) 電源スイッチ

本機の電源を入/切するためのスイッチです。

<注意>

電源を切るときは、必ずシャットダウン処理が完了してからスイッチを操作してください。

3 マウス操作

本機の基本操作には、付属のマウスを使います。

1) 左ボタン

分割画面モードで特定のチャンネルをダブルクリックすると、1画面表示になります。再度ダブルクリックすると元に戻ります。

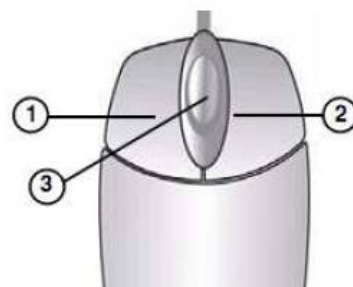
メニュー内では、メニューオプションを選択します。

2) 右ボタン

ライブ監視中、再生中にメインメニューに入ります。もう一度クリックすると戻ります。

3) スクロールホイール

選択されている項目にマウスポインタを合わせてスクロールホイールを回すと、選択されている設定項目の値を増減させることができます。スクロールホイールをクリックすると他のチャンネル等に値をコピーすることができます。



4 リモートコントローラ

本機は、マウスの他、付属のリモートコントローラ（以下「リモコン」と表記）でも操作が出来ます。



① DVR ID

本機を弊社の PDR-AHD2100, PDR-AHD2000, PDR-AHD1000, PNR-HD4000, PDR-X5100, PDR-S2000 シリーズと同じ部屋で使用する場合に、それぞれのリモコンの信号が干渉しないようにするために個別の ID 番号を割り当てることが出来ます。利用可能な番号の範囲は **00 ～ 99** で、次の例のような操作で変更できます。

例：DVR ID を 05 に設定する場合→ **DVR ID** を押しながら **0****5**

<注意>

- 「00」は特別な番号です。リモコンの DVR ID が「00」の場合、本体のコントロール ID に設定された値に関係なく、強制的に操作することが出来ます。一方、本体のコントロール ID が「00」の場合、リモコンに設定された DVR ID に関係なく、全ての DVR ID のリモコンからの操作を受け付けます。
- 本機のリモコンでは、PDR-XM4000 シリーズも操作できますが、PDR-XM4000 シリーズ用のリモコンには DVR ID 機能がないので、リモコン側の ID 設定に関係なく操作を受け付けます。
- PDR-XM3000, PDR-XM4000 シリーズ用のリモコンで本機を操作することが出来ますが、これらのリモコンは DVR ID を持たないので、本機のコントロール ID の設定に関係なく操作を受け付けます。
- PDR-S2000, PDR-X5100 シリーズのリモコンで本機を操作することが出来ますが **メニュー** (**MENU**) ボタンと **決定** (**OK**) ボタンの動作がリモコンの印字と逆になります。(ボタンの印字が入れ替わりますが位置は変わりません)
- 工場出荷時の DVR ID は「00」に設定されています。

② POWER

本機をシャットダウンします。(実際に電源を切るには、シャットダウン操作をしてから、電源スイッチをオフにします)

参照→20 ページ

③ 機能ボタン

本機の各種機能を直接呼び出すためのボタンです。

F 1：画面分割数を切り替えます。

F 2：分割表示時の各チャンネルの表示位置を移動（入れ替え）します。

F 3：予定機能

TIME SEARCH：録画映像を日時から検索します。

EXT.SEARCH：USB メモリーまたは USB HDD 内のバックアップデータを検索します。また、録画用ディスクに割り当てられていない録画済みの録画用 HDD の録画映像も検索できます。

L O G：システムログを表示します。

S P O T O U T：画面切換え用のバーチャルコントローラを表示します。

I N F O：システム情報を表示します。

B A C K U P：録画用ディスクの映像を USB メモリーまたは USB HDD にバックアップする

ためのバックアップメニューに入ります。システムログが表示されているときに押すと「ログバックアップ」ウインドウを表示します。

D I S P L A Y : 映像の表示を分割表示に切り替えます。また、繰り返し押すことで分割方法を選択します。長押しでは画面自動切り替えを開始します。

Z O O M : ライブ及び再生映像を拡大表示します。





P / T / Z : PTZ メニューに入ります。


④ ナビゲーションボタン



本機の各種メニューの操作をするためのボタンです。

M E N U : DVR の各種操作を実行するためのメニューに入ります。メニューに入っているときに押すとメニューを終了します。ただし、設定メニューのサブメニュー内の場合は変更を保存して設定メニューに戻ります。

C A N C E L / E S C : 各種操作を中止する時や、システム情報やログの表示画面を終了する時に使用します。ライブモード中または再生モード中は画面に表示される文字やツールバーの表示と非表示を切り替えるために使用します。

上下左右方向(): メニュー内等でカーソル移動に使用します。


ライブまたは再生モード中に上  方向ボタンを押すとアラームウインドウの表示と非表示を切り替えることができます。


DEC, INC ( ) : メニュー内等で、値の増減と選択に使用します。

O K : メニュー内等で、設定値を決定するときに使用します。ライブモード中と再生モード中は分割表示と 1 画面表示を交互に切り替えます。

⑤ 録再制御ボタン

本機の録画と再生に関する制御ボタンです。


S T O P () : 録画及び再生を停止します。録画を停止するためにはパスワードが必要です。


R E W () : 再生中に早戻し再生に切り替えます。押した回数によって 2 倍→4 倍→8 倍→16 倍に変化します。

「時間検索」ウインドウ内では現在表示されているバーグラフの範囲の前の範囲に移動します。

<情報>

早戻し速度は、録画フレーム数やシステム負荷の程度によって、規定の速度に達しないことがあります。


P L A Y () : ライブモード中に再生に切り替えます。また、変速再生中の場合は通常速度の再生または逆再生に切り替えます。


F F () : 再生中に早送り再生に切り替えます。押した回数によって 2 倍→4 倍→8 倍→16 倍に変化します。




時間検索ウインドウ内では現在表示されているバーグラフの範囲の後の範囲に移動します。

<情報>

早送り速度は、録画フレーム数やシステム負荷の程度によって、規定の速度に達しない事があります。

R E C () : 録画を開始します。

LOGIN/OUT () : 管理者またはユーザーで本機にログインまたはログアウトします。

STEP () : 再生中にコマ送り及び逆コマ送りに切り替えます。コマ送りは 1 回押す毎に 1 コマ進みますので、再生中に 1 度だけ押すことで一時停止として機能します。
時間検索ウインドウ内では  でバックアップ開始時刻を、 でバックアップ終了時刻を指定します。

⑥ チャンネルボタン

映像を映すチャンネル番号の選択や設定メニュー内での数値や文字の入力等に利用します。

カメラタイトル等の文字入力に使用する場合、次表のように、押した回数によって、入力する文字を選択します。


文字入力にはバーチャルキーパッドを使用することもできます。

[参照](#) → 19 ページ

番号	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回
1	a	b	1	A	B	1
2	c	d	2	C	D	2
3	e	f	3	E	F	3
4	g	h	4	G	H	4
5	i	j	5	I	J	5
6	k	l	6	K	L	6
7	m	n	7	M	N	7
8	o	p	8	O	P	8
9	q	r	9	Q	R	9
10/0	s	t	0	S	T	0
11	u	v	U	V		
12	w	X	W	X		
13	y	z	Y	Z		
14	.	@	.	@		
15	-	_	-	_		
16	スペース					





5 バーチャルキーパッド

本機は、文字入力のために、画面上にバーチャルキーパッドを表示できます。

マウスの場合は、入力フィールドの右側の  ボタンをマウスの左ボタンでクリックすると、下図のバーチャルキーパッドを表示できるようになります。



バーチャルキーパッド

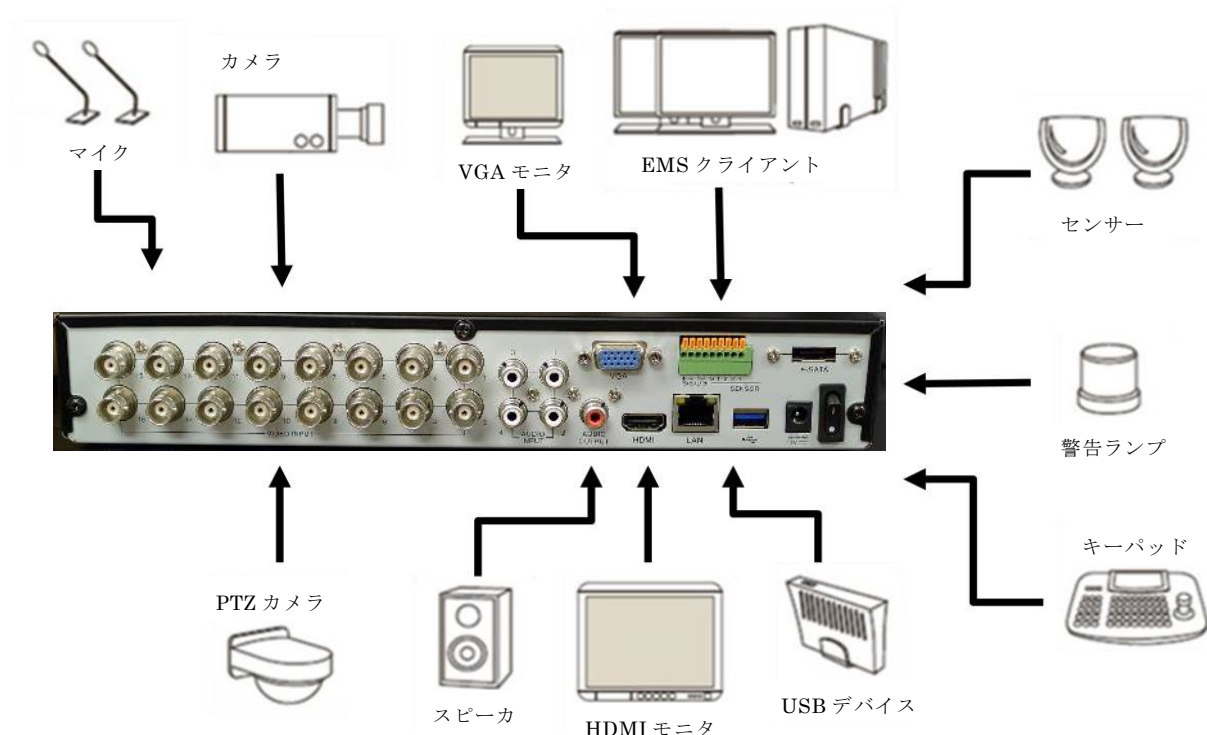
リモコンの場合は、下図の入力フィールドにカーソルを合わせてから **OK** ボタンを押すと、バーチャルキーパッドが表示されます。文字入力には上下左右方向 (   ) ボタンと **OK** ボタンを使用します。



バーチャルキーパッド

6 設置 & 接続

1 カメラ、モニタ、音声、アラームセンサー及び電源コード

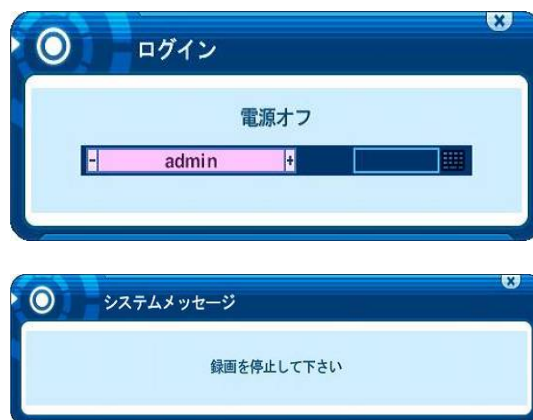


<注意> 音声入出力レベルはラインレベルです。

2 電源の入/切と再起動

本機は、付属の AC アダプターを接続し、電源コードをコンセントに接続してから、背面パネルの電源スイッチを入れると電源が入り、起動します。

電源を切る必要がある場合は、メインメニューから「電源」を選択するか、リモコンの **POWER** (電源) ボタンを押します。



上図右上のログインウィンドウが現れたら、パスワードを入力すると、電源を切ることが出来る状態になります。上図の右下のようなメッセージが表示された場合は、録画を停止してから電源を切る操作を再度実行してください。

電源を切ることが出来る状態になると、次のメッセージが表示されますので、背面パネルの電源スイッチを切ってください。



もう一度起動する場合は、10 秒程度待ってから電源スイッチを入れてください。

<注意>

- 「電源アダプターを DVR から外してください」表示が出ていない状態で電源スイッチを切ったり電源プラグや DC プラグを抜いたりしないでください。故障の原因になる場合があります。
- 誤って電源を切ることが出来る状態にしてしまった場合は、電源スイッチを切って 10 秒程度待ってから入れていただくことで、再起動できます。

3 ネットワーク接続用 PC のシステム条件

	最低	推薦
OS	Windows Vista 以上	Windows 7 以上
CPU	Core 2 Duo	i5
RAM	2G	4G
VGA	PCI-E 256M	PCI-E 512M
DirectX	DX 9.0 サポート	DX 9.0 サポート
ネットワーク	100M イーサネット LAN	100M イーサネット LAN
HDD	100GB 以上	500GB 以上

<情報>

- DVR の接続と遠隔監視は、PC のインターネット接続設定やネットワーク機器の設定及びネットワーク環境にも依存します、接続がうまくいかない場合は、それらも確認してください。
- このシステム条件は、遠隔監視対象の DVR が 1 台の場合です、台数が多い場合は必要に応じて高性能な構成にする必要があります。
- 企業等の組織内では、ネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

<注意>

- 本機とネットワーク機器等、他社製品との間で生じる相性問題について、弊社では責任を負いません。

4 ネットワークの推薦条件

本機を IP ネットワークに接続して遠隔監視及び遠隔再生機能を利用とする場合、ネットワークの性能が必要な性能に達しない場合以下のような現象が発生する場合があります。

- 遠隔監視（ライブ）時に紙芝居のように映像が飛び飛びになる。
- 遠隔再生時に映像がスローモーションのようにゆっくり動く。
- PTZ カメラの操作や UTC によるカメラの遠隔設定が極端に遅れて動作する。

これらの現象を軽減するために、ネットワークには以下の条件が推薦されます。

- LAN は 100Mbps 以上の規格のものを使用する。（100Base-TX, 1000Base-T 等）

本機は、複数の端末から同時にアクセスを受けた場合、最大で約 80Mbps 程度の帯域を使用します。したがって、LAN を他の機器と共用する場合は 1000Mbps の LAN を使用されることをお勧めします。

また、1 台の DVR を 1 台の PC から遠隔監視または遠隔再生するために必要な帯域幅は概ね下表の通りです。（遠隔監視と遠隔再生を同時に実行しない条件）

	PDR-AHD2104	PDR-AHD2108	PDR-AHD2116
帯域幅	8Mbps 以上	16Mbps 以上	32Mbps 以上

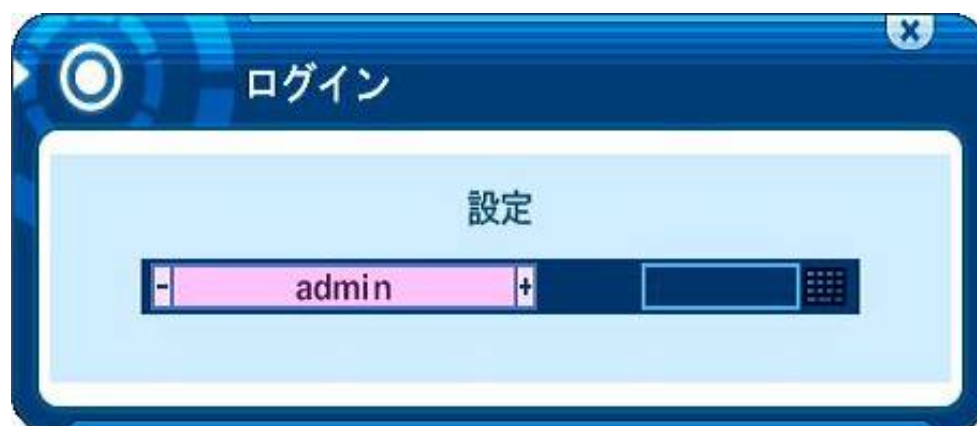
- インターネット回線を使用する場合、光接続を利用する。
たとえ帯域幅の条件を満たしていたとしても ADSL は遅延時間が大きい場合が多いので、あまり適しません。ケーブルテレビ回線は遅延は少ないものの上り帯域が狭いので、遠隔監視用 PC を接続する側には適しますが、DVR を接続する側にはあまり適しません。
- 本機と遠隔監視ソフトウェアを動作させるパソコンとの間のネットワークの往復遅延時間（Ping time）は 1 台の DVR を 1 台の PC から遠隔監視または遠隔再生する条件において概ね下表の通りです。（遠隔監視と遠隔再生を同時に実行しない条件）

	PDR-AHD2104	PDR-AHD2108	PDR-AHD2116
往復遅延時間 （Ping time）	60 ミリ秒以内	20 ミリ秒以内	10 ミリ秒以内

IP ネットワークが上記の条件を満たせない場合は、以下の方法を組み合わせて適切な速度で再生できるように調整してください。

- 録画フレーム数を減らす。
- 録画の画質を下げる。
- 録画の解像度を下げる。
- ストリームモードで「デュアル」を選択する。（効果はライブの分割画面のみ）

II クイックスタートページ



管理者の初期パスワードは非公表です。



EMS2 ソフトに初期設定された起動用のユーザーIDは「admin」、パスワードは非公表です。

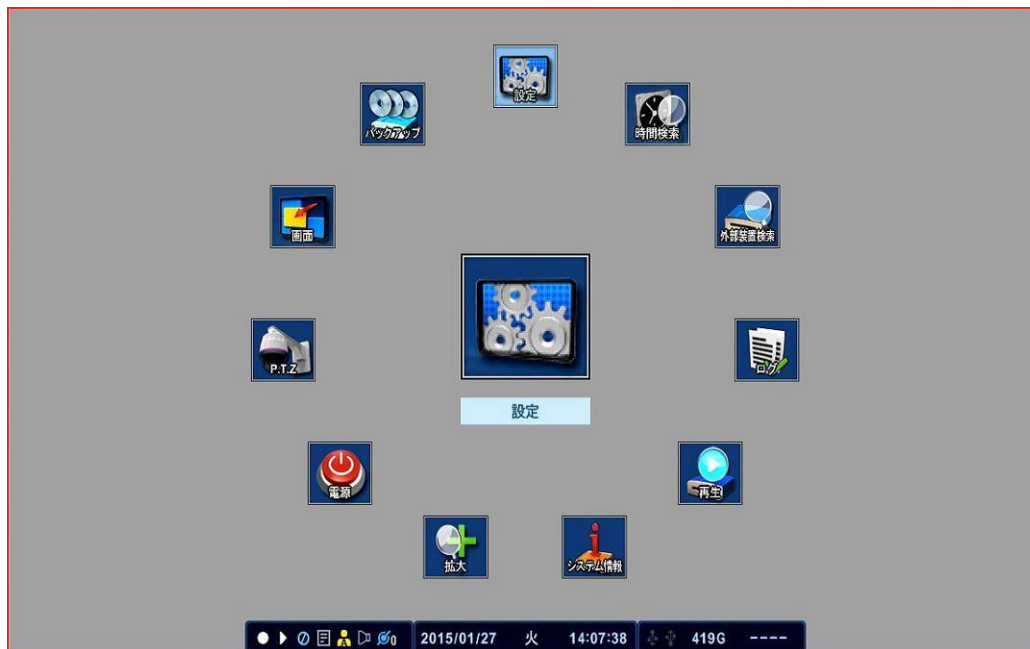
<注意>

- EMS2 ソフトウェアは、APP バージョン 1.4.19.3 以降のものを使用してください。（ただし、本機の遠隔設定機能及び Easy P2P 機能を利用される場合には APP バージョン 1.6.4.3 以降をご使用ください）
- APP バージョン 1.6.4.3 以降では PDR-S2000, PDR-XM3000 シリーズはサポート対象外になりますので、遠隔接続先としてこれら 2 シリーズも使用されている場合は、APP バージョン 1.4.19.3 の使用をお勧めします。（本機の遠隔設定は利用できません）
- EMS2 ソフトウェアの操作方法については EMS2 の取扱説明書をご覧ください。

メインメニュー

メインメニューのそれぞれのアイコンは、DVR の設定または操作のショートカットとして動作します。

希望のメニューを選択するには、マウスまたはリモコンを使います。



日付と時刻の設定

購入後、はじめて DVR の電源を入れたとき、本機の他の操作をする前に、日付と時刻を設定することが重要です。

参照 → **75 ページ**






III ライブ監視

1 表示概要



1 映像信号形式（ビデオフォーマット）

本機は、720P（AHD 1.0）と 1080P（AHD 2.0）及び SD の 3 種類のビデオフォーマットのカメラに対応しており、入力された信号を自動的に識別して表示します。接続されたそれぞれのカメラのビデオフォーマットと解像度は、それぞれのチャンネルのライブ映像の右上にアイコンで表示されます。

アイコン	説明
	1080P の AHD フォーマットの映像信号が入力されていることを示します。(AHD 2.0)
	720P の AHD フォーマットの映像信号が入力されていることを示します。(AHD 1.0)
	SD フォーマット（NTSC または PAL）の映像信号が入力されていることを示します。

<注意>

- 本機のビデオモードが NTSC に設定されている場合、PAL モードに設定されたカメラの映像は映りません。（録画もできません）
- 本機のビデオモードが PAL に設定されている場合、NTSC モードに設定されたカメラの映像は映りません。（録画もできません）
- 本機のビデオモードは、出荷時 NTSC モードに設定されています。

2 録画モード

番号はチャンネルを、番号の背景色は、録画状態を示します。

番号の色		状態
1	黒	録画していない
2	黄	連続録画中
3	赤	イベント(モーション/アラーム) 録画中

3 イベントインジケータ


(1) (2) (3)



画面に表示されるアイコンは、それぞれ次のような状態を示します。

- (1) アラーム入力端子がアラームセンサーによってトリガされたことを示します。このアイコンは画面上部に表示され、アイコン上の数字がトリガされたアラーム入力チャンネルを示します。




アイコンが消えた後、アラームウインドウをマウスで左クリックすると、アラームウインドウを消すことができます。また、リモコンの  ボタンでアラームウインドウの表示と非表示を切り換えることができます。

- (2) モーション検出表示

モーション検出表示はライブ映像の設定された検出エリア内で、被写体の動きを検出している間表示されます。



- (3) ビデオロス表示。

ビデオロス表示は、ビデオロス（カメラからの映像信号の中断）が起きたチャンネルを表示します。ビデオロス表示はアイコンをマウスで左クリックするかリモコンの  CANCEL/ESC ボタンを押すと消えます。

4 ステータスバー





- (1) 録画状態


	白色のアイコンは録画を停止している状態を示します。
	赤色のアイコンは録画を開始している状態を示します。

録画機能の動作状態を表示します。また、アイコンを左クリックすると録画の開始と停止を切り替えることができます。

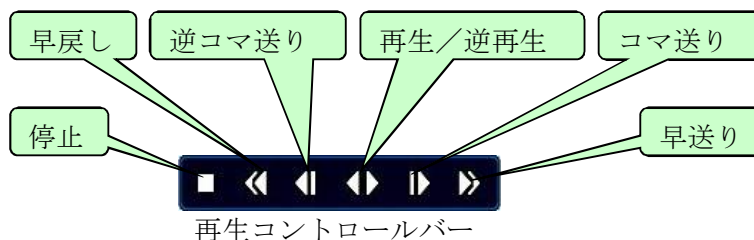
<注意> 録画を停止するには、権限を持つユーザーによるパスワード入力が必要です。

- (2) 再生状態



	白色のアイコンはライブ映像を表示中であることを示します。
	緑色のアイコンは再生映像を表示中であることを示します。

再生の状態を示します。またライブ表示の時にマウスで左クリックすると再生を開始します。再生モードの時にマウスで  アイコンを左クリックすると再生コントロールバーの表示と非

表示を切り替えることが出来ます。



(3) メニュー及び取り消し

	メニューやログが表示されていない状態を示します。（通常の状態）
	メニューやログを表示している状態を示します。

メニューやログの表示有無を示します。また、アイコンをマウスで左クリックする毎に、メニュー画面に入る動作とメニューやログ表示を終了する（または前のメニュー階層に戻る）動作を繰り返します。（設定変更は保存されない）

(4) ログ



ライブまたは再生状態のときに左クリックするとログを表示します。

ログを表示している状態の時に左クリックすると表示されているログを閉じます。



(5) ログイン状態を示します。


	管理者でログイン中の状態（黄色）
	ユーザーでログイン中の状態（水色）
	ログアウト状態（灰色）

(6) 音声データの保存状態を表示します。

	灰色のアイコンは音声データがないことを示します。
	水色のアイコンは音声データがあることを示します。

(7) ネットワーク接続の状態を示します。

	LAN ポートにネットワークが接続されていない事示します。
	LAN ポートにネットワークが接続されていることを示します。右下の数値は遠隔接続の接続数を示します。

<情報>  アイコンはデータリンクレイヤーが接続されていない事示しています。

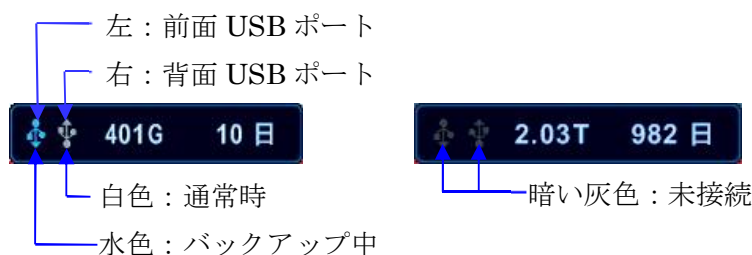
(8) 日時を表示します。

日付表示形式は、メニュー→設定→システム→日時設定 から変更できます。

参照→75 ページ

DVR の状態	表示される日時
ライブ映像表示中	現在の日時を表示します。
再生映像表示中	再生中の映像が録画された日時を表示します。

(9) USB デバイスが接続されていることを示します。（バックアップ中は水色になります）



- (10) HDD の残り容量を示します。(録画用 HDD の空き容量が 5GB 未満になるとリサイクルマーク になります)
- (11) 現在の録画状態で録画用 HDD の全ての領域に録画したと仮定した場合に、録画される映像を保存可能な日数の目安を示します。

<注意>

この値は、現在録画中の映像の直近数分間のデータレートと録画用ディスクの容量を基に自動的に計算されています。従って時間帯や曜日の違い等による被写体の動き量やノイズ量の変動によって値は小刻みに変化するため、平均的な録画可能日数を示すものではありません。あくまで目安とお考えください。

2 分割画面表示および画面自動切り替え

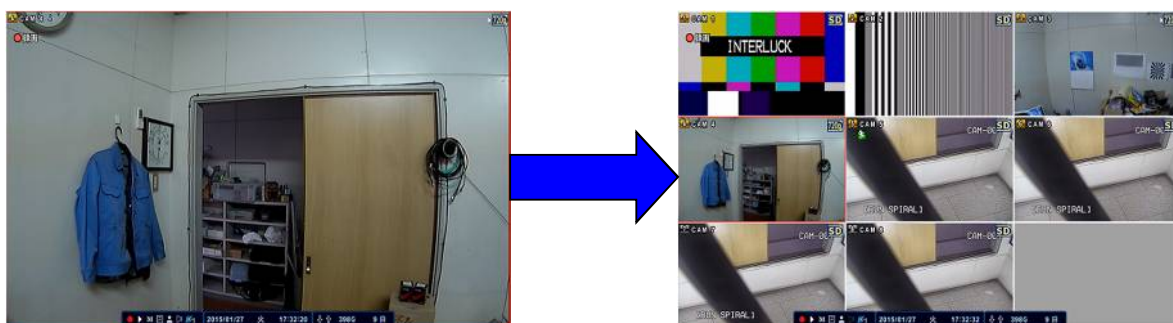
全画面表示

分割画面で、表示したい画面にマウスポインタを合わせてダブルクリックします。リモコンの場合は希望するカメラの番号のボタンを押すことで、全画面表示にするカメラを選択できます。

分割画面で選択されているチャンネル（赤い枠で表示）は **OK** ボタンを押すと 1 画面表示にできます。

分割画面表示及び画面自動切換表示

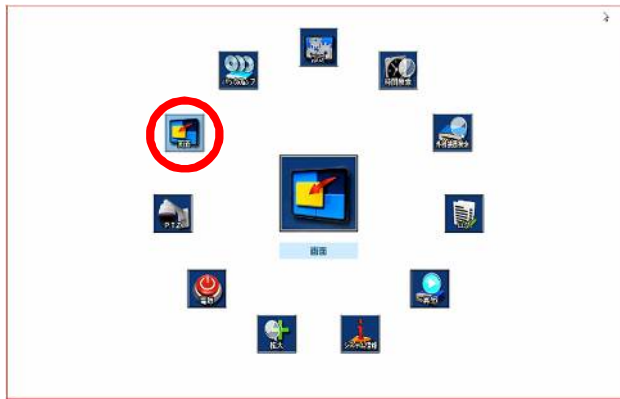
- 1) マウス操作の場合は全画面表示の状態でアイコンやツールバーがない部分にマウスポインタを合わせてダブルクリックします。リモコンの場合は、**DISPLAY** (画面分割) ボタンを押します。



- 2) 自動切換を始めるには、以下の方法があります。

- リモコンで **DISPLAY** (画面分割) ボタンを 2 秒間長押しする方法
- 「画面」メニューから開始する方法

メインメニューで「画面」を選択するか、リモコンで **SPOT OUT** ボタンを押すか、マウスで次のページの“○”印のアイコンをクリックします。



下図のバーチャルコントローラが表示されます。



- 3) 自動切り替えモードおよび画面切り替え時間は、「設定」メニューの「画面設定」で設定可能です。これらの設定に関する詳細については、「画面自動切替設定」をご覧ください。

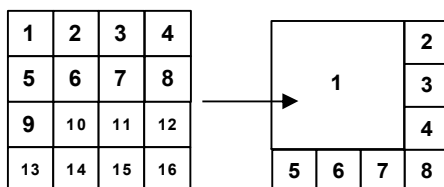
参照→35 ページ

- 4) 分割モードは「画面」メニューの **一般** タブ内で選択可能です。

3 リモコンによる分割モード変更

リモコンの **F1** ボタンを押し、次に 数字 ボタンを押すことで、分割数を変更できます。

例： **F1** ボタンの次に数字 **8**



<情報>

ここで選択可能な分割数は「画面分割設定」でチェックされている分割数に限られます。

メニュー→**設定**→**画面**→**一般**→「画面分割設定」

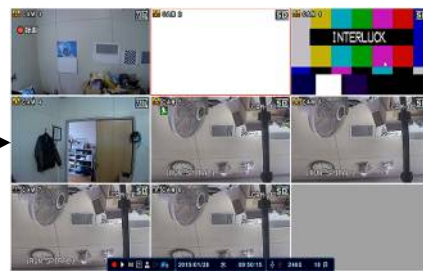
参照→35 ページ

4 画面移動

本機の分割画面表示は、DVR のチャンネル数の範囲内で 4, 6, 7, 8, 9, 10, 13, 16 分割が利用可能で、各チャンネルの表示位置を入れ替えることができます。画面移動はマウスのドラッグ&ドロップで操作します。









位置変更前





位置変更後

リモコンの場合は次の手順で画面移動が出来ます。

- ① リモコンの **F2** ボタンを押すと  マークが表示されます。
- ② 方向ボタン     で入れ替えたいチャンネルの片方に  マークを移動します。
- ③ 入れ替えたいもう片方のチャンネルを数字ボタンで指定します。
- ④ **OK** ボタンを押すと、変更を保存します。
☐ **CANCEL/ESC** ボタンを押すと、変更を保存せずに戻ります。

上の例は 1 と 3 の表示位置を入れ替えた例です。

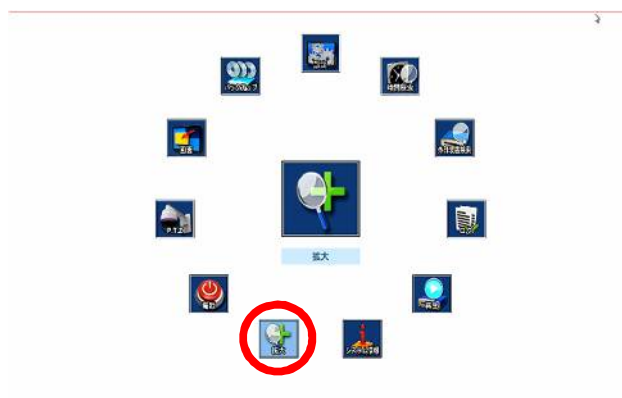
<注意>

-  チャンネル数より少ない分割数を設定した場合に、画面に表示されていないチャンネルを選択したい場合は、リモコンを使って設定してください。
-  画面移動の情報は分割数毎に管理されています、入れ替えの状態は別の分割数の画面には引き継がれません。

1 ズーム

ライブモードおよび再生モード中に画面の一部を拡大することが出来ます。

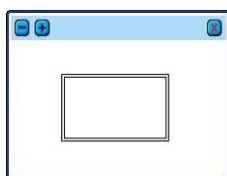
- 1) デジタルズームを有効にするには、拡大したいカメラを選択するか全画面表示の状態にします。
- 2) メインメニューで「拡大」を選択するか、リモコンの **ZOOM** ボタンを押します。



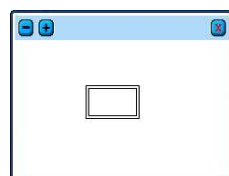
下図のようなズームエリアボックスがポップアップ表示されます。



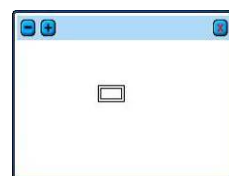
×1



×2



×4



×8

- 3) マウスの場合はズームエリアボックス内をクリックすることで拡大したい位置を指定します。
リモコンの場合は (方向) ボタンを使います。
- 4) 画像の倍率を上げるにはマウスで をクリックするか、リモコンの ボタンを押します。倍率を下げるにはマウスで をクリックするか、リモコンの ボタンを押します。
- 5) 通常モードに戻すにはマウスで をクリックするか、リモコンの CANCEL/ESC ボタンを押します。

<注意>

- 分割画面表示のときに **ZOOM** ボタンを押すと、選択された（赤枠で囲まれた）チャンネルを 1 画面表示で拡大表示します。
- 分割画面表示の時に赤枠で囲まれる位置は、マウスで画面を左クリックするかリモコンの ボタンで変更することが出来ます。
- DVR の状態によっては 4 倍までしか拡大出来ない場合があります。

IV 基本操作

1 ログイン・ログアウト

DVR を操作するには、適切なユーザーとパスワードで DVR にログインしなければなりません。この DVR は、工場出荷時には、1つの管理者ユーザーのアカウントが予め設定されています。

初期設定された管理者アカウント

初期設定ユーザー名称	admin
初期設定パスワード	非公表

<注意>

- 本機を設置したら、**情報漏洩や不正使用を防止するため、管理者パスワードをお客様自身の新しいパスワードに必ず変更していただきますよう強くお願い致します。**
- 初期設定されたパスワードのまま使用を継続しても、本機にはそれを警告する機能はありませんので十分ご注意ください。
- ログインパスワードには 6 桁の数字とアルファベット及び一部の記号が利用できます。
- 本機は、初期設定ではログイン状態のまま何も操作をしない状態が 3 分間続くと自動的にログアウト状態になります。また、再生モード中の場合は、ログアウトと同時に自動的に再生を中止してライブモードに戻ります。長時間の連続再生をする場合は自動ログアウトを「オフ」または必要に応じた長めの時間に設定してください。」

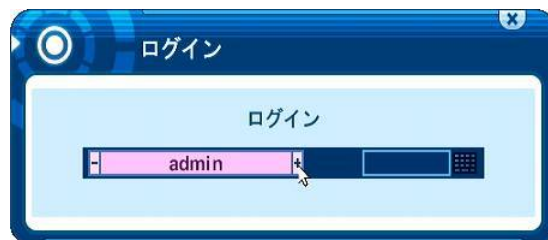
参照→74 ページ

1 ログイン

- 1) マウスの場合は下図の人の形をしたアイコンをクリックします。リモコンの場合は[人]ボタンを利用します。




- 2) ログイン画面が現れたら、[人]ボタンでユーザーを選択し、パスワードを入力します。マウスの場合はバーチャルキーパッドを、リモコンの場合は数字ボタンまたはバーチャルキーパッドを利用します。

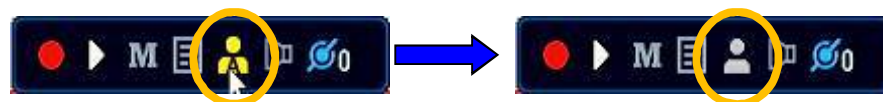


- 3) ログインアイコン [人]または [人A] がステータスバーに表示されます。






2 ログアウト

- 1) マウスの場合、下図の人の形をしたアイコンをクリックすると、最初の状態に戻り、ログアウト状態になります。リモコンの場合は  ボタンを利用します。



ログイン状態のアイコンは次の 3 種類の状態があります。


	管理者でログイン中の状態（黄色） 管理者は DVR の全ての操作ができます。（管理者は 1 アカウントです）
	管理者権限のないユーザーでログイン中の状態（水色） ユーザーは最大 10 アカウントまで設定でき、DVR の管理者によってユーザー毎に許可された範囲の操作と許可されたチャンネルの視聴ができます。
	ログアウト状態（灰色） DVR のほとんどの操作ができません。視聴可能な範囲は全てのユーザーに対して共通に許可されているチャンネルのライブ映像／音声だけです。

2 メニューの基本操作







- 1 管理者または設定を許可されたユーザーで DVR にログインします。

<注意>

管理者以外の権限では、「設定」メニューの「ディスク」及び「システム」メニューへのアクセスは許可されません。

- 2 マウスの場合は右クリック、リモコンの場合は  ボタンを押すとメインメニューが現れます。



- 3 適切なメニューを選択するにはマウスで適切なアイコンを左クリックするか、リモコンの    (方向) ボタンを使って選択します。メインメニュー内では選択された項目は、大きなサイズで中央に強調表示されます。
- 4 リモコンの場合は選択しした項目で  ボタンを押します。
- 5 リモコンでタブを選択するには   (左右) ボタンを使います。選択された項目は色が変わります。



- 6 メニューは左側の欄に設定項目が、右側の欄に設定値が表示されます。マウスポインタを操作したい項目に合わせて左クリックすると、その項目を選択できます。リモコンの場合は (方向) ボタンを使います。
- 7 値または選択肢を変更するには を左クリックします。リモコンの場合は ボタンを使います。
- 8 変更を保存して元のメニューに戻るには、マウスで ボタンをクリックするかリモコンで ボタンにカーソルを合わせて ボタンを押します。
変更を保存せずに元のメニューに戻るにはマウスで任意の場所を右クリックするか を左クリックします。リモコンの場合は CANCEL/ESC ボタンを使います。

V 設定

この章では、設定メニューの詳細について記述します。表内の設定値の強調表示は、工場出荷時の初期値を意味します。

設定メニューに入るには、ライブまたは再生モードで、マウスの場合は右クリックで表示されるメインメニューから を選択します。リモコンの場合は → ボタンを押します。


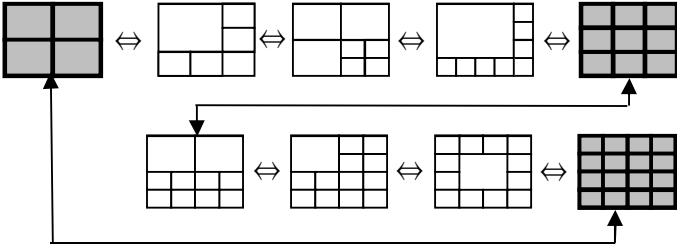


1 画面

「画面」設定では、画面表示に関する設定ができます。

1 一般



項目	調整
ステータスバー	メインモニタ画面下のステータスバーの「表示」⇔「非表示」を切換えます。 
カメラ情報	カメラ番号と名称及びカメラからの映像信号の公称解像度、それぞれのオンスクリーン表示の表示と非表示を切換えます。 初期値：カメラ番号=表示 カメラ名称=表示 解像度=表示
画面分割線	分割画面表示のとき、チャンネル間を分割する線の色を選択します。 [グレイ ⇔ 白 ⇔ 青 ⇔ 黒 ⇔ ダークグレイ]
背景色	映像信号がない状態のチャンネルに表示する背景色を選択します。 [グレイ ⇔ 白 ⇔ 青 ⇔ 黒 ⇔ ダークグレイ]
OSD 表示位置	OSD 表示可能なメイン映像出力は VGA と HDMI モニタに表示できます。映像は、これら全てのモニタに同時に表示できます。この設定では、モニタ上のオンスクリーン表示の位置を選択します。 アンダースキャン：ツールバー等を画面の外枠に寄せて表示します。 オーバースキャン：ツールバー等を画面の外枠より少し内側に表示します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><情報></p> <p>モニタの種類によっては、ツールバーやアイコンが画面の外側にはみ出して見辛い場合があります。そのような場合は「オーバースキャン」に設定してください。</p> </div>
画面分割設定	利用可能な画面の分割方法を指定します。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><情報></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4チャンネル機は4分割のみ利用できます。 ● 8チャンネル機は4, 6, 7, 8, 9分割のみ利用できます。 </div>

2 画面自動切替設定

「画面自動切替設定」では、モニタの画面自動切り替えに関する設定をすることができます。



項目	説明																																								
デバイス	設定を変更するモニタ出力を選択します。(利用不可) 本機はスポット出力を持たないので、この設定は メイン から変更できません。																																								
画面切替時間	各カメラまたは分割画面をローテーションで自動切替え表示する場合に、ひとつの画面を表示し続ける時間を選択します。 1 秒～30 秒[初期設定：5 秒]																																								
モード	分割画面表示のときの、画面自動切替えの表示方法を次のように切り替えます。 (a) 順次 ：分割数に応じて下図のように切り替えます。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td></tr> </table> → <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td></tr> </table> → <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td></tr> </table> → <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td></tr> </table> </div> (b) シフト ：下図のようにチャンネル番号順で表示位置をスライドさせます。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td></tr> </table> → <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td></tr> </table> → <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td></tr> </table> → <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td></tr> </table> </div> (c) イベント ：イベントの起きたチャンネルを左上に表示し、他をスライドさせます。 次の例は、4 分割表示でチャンネル「3」でイベントが発生した場合。 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td></tr> </table> → <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td><td>1</td></tr> <tr><td>2</td><td>4</td></tr> </table> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 前 イベント 後 </div>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	1	2	3	4	2	3	4	5	3	4	5	6	4	5	6	7	1	2	3	4	3	1	2	4
1	2																																								
3	4																																								
5	6																																								
7	8																																								
9	10																																								
11	12																																								
13	14																																								
15	16																																								
1	2																																								
3	4																																								
2	3																																								
4	5																																								
3	4																																								
5	6																																								
4	5																																								
6	7																																								
1	2																																								
3	4																																								
3	1																																								
2	4																																								
画面分割設定	画面自動切り替えのときに使用する画面の分割方法を次の 8 種類から 1 つ選択できます。 																																								
使用チャンネル	画面自動切り替えに含めるチャンネルを複数選択できます。 初期値： 全チャンネル選択																																								

3 イベント

イベント タブは、**画面自動切替設定** タブの「モード」の項目を「イベント」に設定した場合にだけ利用可能になります。

ここでは、自動切替えで表示させたいチャンネルに割り当てるイベントを指定します。



項目	説明
CH	イベントが発生したときに表示させるチャンネル番号。(値の変更はできません)
アラーム入力	それぞれのチャンネルを表示させるために使うアラーム入力を選択します。 オフ ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 全て
モーション	それぞれのチャンネルを表示させるために使うモーション検出チャンネルを選択します。 オフ ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
ビデオロス	それぞれのチャンネルを表示させるために使うビデオロス検出チャンネルを選択します。 オフ ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
システム	未使用
※	🔒 でより詳細な設定のために「イベント編集」ウインドウを開きます。 参照 → 39 ページ

<注意> ビデオロス検出チャンネルと表示チャンネルを同じチャンネルに設定しないでください。

例 1

チャンネル 3 でモーションを検出したときに、チャンネル 3 の映像を表示する例

これは、最も一般的な設定例の一つです。

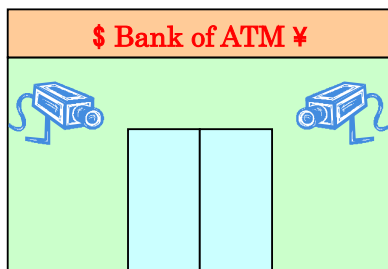


例 2

チャンネル 1 でビデオロスが発生した場合にチャンネル 2 を表示し、チャンネル 2 でビデオロスが発生した場合にチャンネル 1 を表示する例

チャンネル 2 のビデオロス
で、チャンネル 1 を表示

チャンネル 1 のビデオロス
で、チャンネル 2 を表示



画面					
一般 画面自動切替設定 イベント					
CH.	アラーム入力	モーション	ビデオロス	システム	※
1	オフ	オフ	2	オフ	
2	オフ	オフ	1	オフ	
3	オフ	オフ	オフ	オフ	
4	オフ	オフ	オフ	オフ	
5	オフ	オフ	オフ	オフ	
6	オフ	オフ	オフ	オフ	
7	オフ	オフ	オフ	オフ	
8	オフ	オフ	オフ	オフ	

保存

このような設定は、左図のように 2 台のカ
メラを向かい合わせにして、カメラへの悪
戯を監視したい場合等に利用できます。

アラーム、モーション、ビデオロスの欄に表示される内容の意味は、次表のようになります。

表示	説明
数字(1~16)	選択した 1 つのチャンネル番号
全て	全てのチャンネルを選択した場合
※	全てではないが、複数のチャンネルを選択した場合(イベント編集で確認・設定が必要)

1 イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、イベントによる画面自動切り替えのための、より詳細な設定をすることができます。

例

チャンネル 1 またはチャンネル 2 のアラーム入力トリガされたときにチャンネル 1 を表示します。

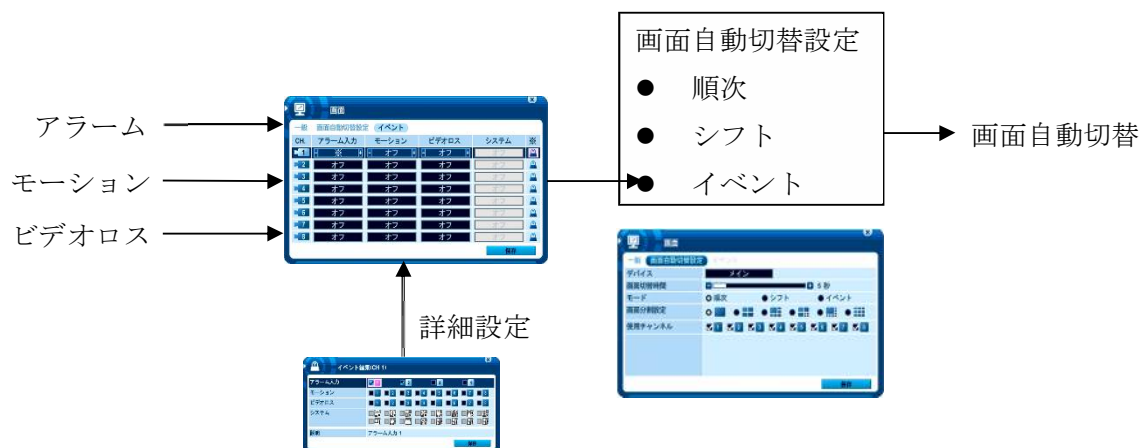


この状態で、元の **イベント** タブに戻ると、チャンネル 1 のアラーム欄は「※」になっていることが確認できます。



<注意> 「画面」メニューのイベント編集では、システムイベントを取扱うことはできません。

2 イベントによる画面自動切替え処理の流れ




















2 カメラ

「カメラ」メニューでは、モーション検出、映像調整(輝度・コントラスト・カラー・彩度)、プライバシー保護及び PTZ 設定のようなカメラに関する設定をします。



項目	説明
輝度	それぞれのカメラの輝度を調整します。(BIAS 値) 0 ～ 100[初期設定 <u>50</u>]
コントラスト	それぞれのカメラのコントラストを調整できます。(GAIN 値) 0 ～ 100[初期設定 <u>50</u>]
カラー	それぞれのカメラの色相を調整できます。 0 ～ 100[初期設定 <u>50</u>]
彩度	それぞれのカメラの色の濃さを調整できます。 0 ～ 100[初期設定 <u>50</u>]
感度設定	それぞれのカメラのモーション検出感度を設定します。感度は値が大きくなるほど敏感になります。 0 ～ 20 [初期設定 <u>10</u>]

エリア設定	<p>画面上のモーション検出するエリアを指定します。 選択されている検出エリアは、右側のビューウインドウ内に青く表示されます。  (全て選択) ボタンを左クリックするか、リモコンの場合カーソルを合わせて OK ボタンを押すと、全てのエリアを選択できます。  (全てクリア) ボタンを左クリックするか、リモコンの場合カーソルを合わせて OK ボタンを押すと、全てのエリアを解除できます。  (詳細設定) ボタンを左クリックするか、リモコンでカーソルを合わせて OK ボタンを押すと、8×8の検出エリアを個別に設定することができます。(詳細は次のページ参照) リモコンでビューウインドウを抜けてメニューに戻るには M MENU ボタンまたは CANCEL/ESC ボタンを使います。</p>
プライバシー保護	<p>各カメラの撮影映像の中から、監視及び録画したくない部分を長方形のエリアで指定する機能です。指定されたエリアは黒になります。  (全てクリア) ボタンを左クリックするか、カーソルを合わせて OK ボタンを押すと、全てのエリアを解除できます。  (詳細設定)</p> <ol style="list-style-type: none"> マウス操作の場合 ボタンを左クリックすると、ビューウインドウがピンク色の枠で囲まれます。この状態で選択したい長方形の範囲をドラッグ&ドロップで指定します。 リモコン操作の場合 ボタンにカーソルを合わせて OK ボタンを押すと、ビューウインドウがピンク色の枠で囲まれ、その中に赤いコーナーの枠 ( と ) が表れます。この枠を     (方向) ボタンで移動して、開始位置と終了位置を決めて OK ボタンを押すことで、対角線で指定された長方形の範囲がマスクされます。 ビューウインドウを抜けてメニューに戻るには M MENU ボタンまたは CANCEL/ESC ボタンを使います。 <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black;"> <p><注意> プライバシー保護のエリアはチャンネル毎に1箇所のみ設定できます。</p> </div>
PTZ	<p>PTZ (パン・チルト・ズーム) カメラ制御及び UTC 機能によるカメラのメニュー操作のための設定ウインドウを開きます。 参照→42 ページ</p>
カメラタイトル	<p>カメラの設置場所等をカメラタイトルとして登録することで、画面に表示させることができます。 参照→42 ページ</p>
<p><情報> モーション検出の検出エリアを個別に設定するには</p> <ol style="list-style-type: none">  (詳細設定) ボタンをクリックするか、カーソルを合わせて OK ボタンを押すと、右図のようにビューウインドウがピンク色の枠で囲まれます。リモコンの場合は     (方向) ボタンを操作するとビューウインドウ内の赤い点を上下左右に動かすことができるようになります。 マウスで目的の位置をダブルクリックすると、その位置の選択と解除ができます。リモコンの場合、赤い点を目的の位置に合わせてから、OK ボタンを押します。 リモコンでカーソルをメニューに戻すには M MENU ボタンまたは CANCEL/ESC ボタンを使います。 <div style="text-align: right;">  <p>ビューウインドウ</p> </div>	

1 PTZ

<注意>

- この機能は、正しく設定しても正常に動作しない場合があります。これは、本機の製造元と、PTZ 及び UTC カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保証することが困難なためです。従いまして、PTZ 及び UTC 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上で制御可能な機能の範囲内でご使用いただきますようお願い致します。
- PTZ 及び UTC カメラをご使用になる場合は、この設置・取扱説明書とともに PTZ 及び UTC カメラの説明書等もお読みいただきますようお願い致します。
- 誤配線や異なるインターフェースの機器を接続した事等による故障は保証期間中であっても有償修理扱いとなります。また、損傷の程度によっては修理できない場合があります。

本機に PTZ 及び UTC カメラを接続する場合の、各カメラに対する本機の PTZ 設定が出来ます。

設定 ボタンを左クリックすると、「PTZ 設定」ウインドウが開きます。リモコンの場合はカーソルを

設定 ボタンに合わせて **OK** を押します。



a. 通信設定

適切な機種を設定し、カメラと一致するボーレートと PTZ ID (アドレス) を入力します。

<情報>

UTC 用のプロトコルを選択した場合、コントロール ID と通信速度はグレー表示になり値を選択出来なくなります。

b. ツアーグループ

PTZカメラにプリセットされた位置を開始番号と終了番号を指定して巡回するプログラムを最大10通りまで登録できます。

参照 → 87 ページ

2 カメラタイトルの入力

それぞれのカメラに、設置場所などを示す固有の名称を付けることができます。

カメラタイトルは次の条件で付けることができます。

使用可能な文字の種類	リモコン	数字ボタン	半角英数、半角記号(@ . - _)
		バーチャルキーパッド	半角英数、半角記号(@ . - _ / : ! # \$ % ^ & ★ () = , + ?)
	マウス	キーパッド	
使用可能な文字数	EMS2 で設定		半角文字及び全角文字
	DVR で設定		半角 20 文字
	EMS2 で設定		半角 28 文字、全角 9 文字

入力方法は、マウスの場合バーチャルキーパッドを、リモコンの場合数字ボタンまたはバーチャルキーパッドを使用します。リモコンの数字ボタンで入力する場合に数字ボタンを押した回数と入力される文字の関係は、次表のようになります。

番号	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回
1	a	b	1	A	B	1
2	c	d	2	C	D	2
3	e	f	3	E	F	3
4	g	h	4	G	H	4
5	i	j	5	I	J	5
6	k	l	6	K	L	6
7	m	n	7	M	N	7
8	o	p	8	O	P	8
9	q	r	9	Q	R	9
10/0	s	t	0	S	T	10
11	u	v	U	V		
12	w	X	W	X		
13	y	z	Y	Z		
14	.	@	.	@		
15	-		-			
16	スペース					

バーチャルキーパッドはマウスでもリモコンでも利用できます。

ここで [OK] ボタンを押すとバーチャルキーパッドが現れます。

ここを左クリックするとバーチャルキーパッドが現れます。

バーチャルキーボード

<注意>

- カメラタイトルとして全角文字を使用することができますが、全角文字はマウス、リモコンで入力することは出来ません。全角文字の入力には遠隔監視ソフトウェア EMS2 をご使用ください。
- 遠隔監視ソフトウェアから登録した名称を削除する場合は遠隔監視ソフトウェアから削除してください。遠隔監視ソフトウェアから登録した名称を DVR で削除しようとすると完全に削除できない場合があります。

3 録画

本機は、工場出荷時に、連続(ノーマル)録画のために、ある程度基本的な設定が施されています。そのため DVR を設置して **●REC** (録画) ボタンを押すだけで、すぐに録画を始めることが出来ます。初期設定では、音声とイベント録画は オフ になっています。

録画設定では、これらの設定を操作して、お客様のニーズに合わせた、よりきめ細かな録画設定を可能にします。

本機では各チャンネルの解像度、画質(圧縮率)、フレーム数の 3 種類のパラメータを組み合わせることで、録画品質とおおよその録画可能な日数を決定しています。「上書き録画」が「オン」(初期設定)の場合、録画可能な日数は事実上映像の保存期間になります。録画可能な日数の目安は付属のソフトウェア“HDD calculator”を使用して計算できます。

参照→107 ページ

<注意>

“HDD Calculator”で表示される値は、あくまで概算値です。実際には、被写体の動きの程度や映像信号のノイズ量などの撮影条件によって、データ量は極めて大きく変化します。最低限録画したい日数が決まっている場合は、実際の映像で試し撮りする等して調整してください。

1 一般

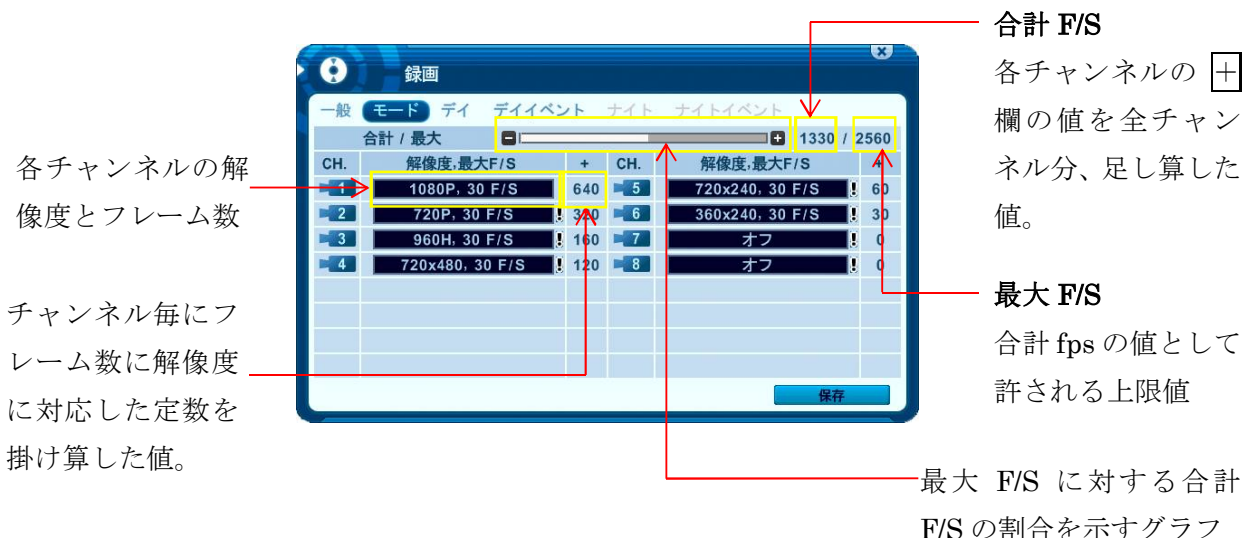


項目	説明
予約録画使用	<p>ナイトゾーンの有効または無効を設定します。この設定をオンにした場合、デイゾーンとナイトゾーン及び録画休止ゾーンは、予約録画設定に従って自動的に切替えられます。</p> <p>オフ ⇄ オン</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機は通常の録画と予約録画をこの設定で切替えます。従って PDR-S2000, PDR-XM3000 シリーズのような「予約録画」ボタンはありません。 ● 本機では、録画を開始しなければ、予約録画は働きません。 </div>
起動時録画	<p>オンに設定すると、本機を起動後、●REC (録画) ボタンを押さなくても自動的に録画を開始します。(●REC ボタンが押されたのと同じ状態にします)</p> <p>オフ ⇄ オン</p>
上書き録画	<p>「オン」の場合は HDD の空き容量がなくなった時に最も古い映像から順に削除して新しい映像を上書きします。オフの場合は録画を停止します。</p> <p>オフ ⇄ オン</p>
自動削除期間	<p>録画後、予め指定した期間が経過した映像を HDD の空き容量に関係なく、自動的に削除します。</p> <p>無し ⇄ 12 時間 ⇄ 1 日 ⇄ 2 日 ⇄ 3 日 ⇄ 4 日 ⇄ 5 日 ⇄ 6 日 ⇄ 1 週間 ⇄ 2 週間 ⇄ 3 週間 ⇄ 4 週間 ⇄ 30 日</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> <p><注意> 指定された日数より早く HDD が満杯になった場合には、上書き録画の設定に従って上書きされるか録画を停止します。</p> </div>
事前録画時間	<p>イベント録画時に、イベントが発生する前の映像を録画する期間を 1 秒刻みで指定します。</p> <p>1 ～ 5 秒 [初期設定 5 秒]</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事前録画は、「録画」ボタンを押す前の時間に遡って記録することはできません。 ● 事前録画には、常時録画の録画設定が適用される場合と、イベント録画の録画設定が適用される場合があります。 </div>
事後録画時間	<p>イベント録画時に、イベントが発生した後の映像を録画する期間を 5 秒刻みで指定します。</p> <p>5 ～ 300 秒 [初期設定 10 秒]</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #cceeff; padding: 5px;"> <p><情報></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イベント録画中に次のイベントが発生した場合、録画は自動的に延長されます。 2. 連続録画またはイベント録画で映像の記録を実行中の場合、事前録画及び事後録画は働きません。 </div>

2 モード (録画モード設定)

本機は、複数のカメラで撮影した映像を多重化して HDD に録画しています。各チャンネルの「F/S」に対して解像度に依存する次表の定数を掛け算したものが「+」欄に表示される値です。この各チャンネルの「+」欄の値を全チャンネル足し算したものが、「合計 fps」になります。

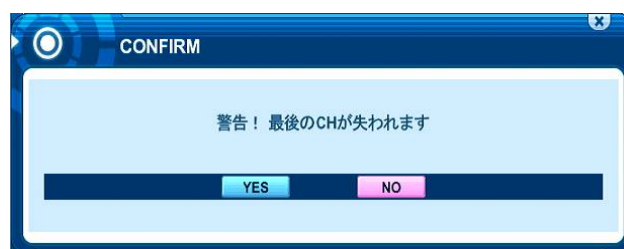
本機では、この「合計 fps」の値が「最大 F/S」を超えないように設定しなければなりません。



解像度に応じた定数は次表のようになります。

解像度	定数
360×240	1
720×240	2
720×480	4
960H	約 5.3(正確には 16/3)
720P	約 10.7(正確には 32/3)
1080P	約 21.3(正確には 64/3)
AUTO	「+」欄が 320 になるように自動設定

「合計 F/S」として、「最大 F/S」を超える値を設定しようとした場合、次のような警告メッセージが表示されます。



YES を選択すると、現在編集集中のチャンネル以外のチャンネルの中でチャンネル番号の大きなチャンネルから順に **オフ** に設定されます。

<情報>

- ひとつのチャンネルを設定した後に、他のチャンネルに同じ設定をコピーしたい場合は、コピー元を選択した状態でスクロールホイールをクリックします。リモコンの場合、コピー元を選択した状態で **DISPLAY** ボタンを押します。
- それぞれのモデルの最大 F/S は以下の通りです。

PDR-AHD2104	PDR-AHD2108	PDR-AHD2116
1280	2560	5120

<注意>

- 上記の警告メッセージは、設定をコピーした場合には表示されませんのでご注意ください。
- 解像度を 720P 及び 1080P に設定したチャンネルにアナログ NTSC 方式のような SD フォーマットのカメラを接続した場合、録画と遠隔監視の解像度は 720×480 として処理されます。
- 解像度を 1080P に設定したチャンネルに 720P の AHD カメラを接続した場合、録画と遠隔監視の解像度は 720P として処理されます。
- **モード** タブで 30F/S が選択されていても、**モード** タブで設定した解像度とカメラの解像度が一致しない場合、**デイ** 及び **ナイト** タブで 30F/S を選択できません。
- EMS2 のスケジュールバックアップ機能を使用する場合は、合計 F/S が 1280 を超えないように設定してください。
- 接続されているカメラに対して不適切な解像度を選択しようとした場合には下図のように「解像度, 最大 F/S」欄の右側に「!」警告マークを表示します。設定ミスを防ぐため、モード設定を手動でおこなう (AUTO 以外に設定) 場合には、設定の前にカメラを接続して映像が映る状態にしてくださいをお勧めします。

CH.	解像度, 最大 F/S	+
3	720P, 7 F/S	80
4	1080P, 30 F/S	! 640

3 デイ

デイ タブでは、常時録画とイベント録画のフレーム数と画質を設定します。また、「予約録画使用」が「オン」になっている場合には、「予約録画」で「デイ」を割り当てた日時に対して適用されます。このタブでは「連続」と「イベント」の両方を設定することで、通常時と、イベント発生時で異なる録画設定（フレーム数と画質）を適用することができます。



モード タブで録画するように設定したチャンネル

モード タブで録画しないように設定したチャンネル
(薄く表示されます)

連続録画に適用する設定 イベント録画に適用する設定

項目	説明							
解像度	モード タブで設定した解像度を表示します。(ここでは変更不可) ただし、ここに表示される解像度の表現は モード タブでの表現と異なり、次のような関係になります。							
	モード タブでの表現	360×240	720×240	720×480	960H	720P	1080P	
	デイ タブでの表現	CIF	2CIF	D1	960H	720P	1080P	
音声	音声を録音するかしないかを選択します。 オフ ⇄ オン							

連続録画	F/S	連続録画に適用する各チャンネル用の毎秒録画フレーム数を選択できます。 オフ ⇨ 1 ⇨ 2 ⇨ 3 ⇨ 4 ⇨ 5 ⇨ 7 ⇨ 10 ⇨ 15 ⇨ 30 <注意> ● モード タブで設定した値を超える値は選択出来ません。 ● モード タブで 30F/S が選択されていても、 モード タブで設定した解像度とカメラの解像度が一致しない場合、 デイ 及び ナイト タブで 30F/S を選択できません。
	画質	連続録画に適用する各チャンネル用の録画画質を設定します。 低画質 ⇨ 中画質 ⇨ 高画質 ⇨ 超高画質
イベント録画	F/S	イベント録画に適用する各チャンネル用の毎秒録画フレーム数を選択できます。 オフ ⇨ 1 ⇨ 2 ⇨ 3 ⇨ 4 ⇨ 5 ⇨ 7 ⇨ 10 ⇨ 15 ⇨ 30 <注意> ● モード タブで設定した値を超える値は選択出来ません。 ● モード タブで 30F/S が選択されていても、 モード タブで設定した解像度とカメラの解像度が一致しない場合、 デイ 及び ナイト タブで 30F/S を選択できません。
	画質	イベント録画に適用する各チャンネル用の録画画質を設定します。 低画質 ⇨ 中画質 ⇨ 高画質 ⇨ 超高画質

「連続録画」欄の「F/S」がオフ以外のチャンネルは、連続的に映像データを録画します。また、チャンネル毎に異なる設定が可能です。他のチャンネルに設定をコピーするには、スクロールホイールでクリックするカリモコンの **DISPLAY** ボタンを押します。

「イベント」欄の「F/S」が「オフ」以外のチャンネルは、イベント録画が有効になります。但し、イベント録画を実行するには別途 **デイベント** タブでの設定が必要です。さらに、モーション録画を実行する場合には「カメラ」メニュー内の、「感度設定」と「エリアの設定」が適切に設定されていなければなりません。

<注意>

- 本機は、工場出荷時にはイベント録画をしない設定になっています。イベント録画をする場合は、**デイ** タブの「イベント」列及び **デイベント** タブ内の設定を適切にするようにしてください。また、予約録画をする場合は、**ナイト** タブ及び **ナイトイベント** タブの設定も必要です。
- 本機は、工場出荷時「カメラ」メニューの「モーションエリア」が指定されていない状態になっています。モーション録画をする場合は、モーションエリアを設定する必要があります。
- 「連続」列の「F/S」に数値が設定されていて且つ「イベント」列の「F/S」にオフが設定されている場合にはイベントの有無に関係なく連続録画が継続されます。(イベント発生時に録画をしなくなるような設定は出来ません)

4 デイイベント

デイイベント タブでは、どのような情報に基づいて、どのチャンネルのイベント録画を実行するのかを設定します。また、「予約録画使用」がオンになっている場合には、「予約録画」で「デイ」を割り当てた日時に対してこの設定が適用されます。



項目	説明
CH	イベント録画に使用するチャンネル番号を示します。(変更はできません)
アラーム入力	アラーム録画をする場合の、アラーム入力のチャンネルを設定します。 オフ ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 全て アラーム入力については「デバイス」メニューの アラーム タブを参照してください。 参照→69 ページ
モーション	モーション録画する場合の、モーション検出チャンネルを設定します。 4ch 機 オフ ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 全て 8ch 機 オフ ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 全て 16ch 機 オフ ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 9 ⇔ 10 ⇔ 11 ⇔ 12 ⇔ 13 ⇔ 14 ⇔ 15 ⇔ 16 ⇔ 全て モーション検出については「カメラ」メニューのモーション設定（「感度設定」と「エリア設定」）を参照してください。 参照→40 ページ <div style="background-color: yellow; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <注意> モーション検出機能は、入力される映像信号の状態によっては意図した動作をしない場合があります。 </div>
ビデオロス	ビデオロスによって録画する場合の、ビデオロス検出チャンネルを設定します。 4ch 機 オフ ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 全て 8ch 機 オフ ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 全て 16ch 機 オフ ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 9 ⇔ 10 ⇔ 11 ⇔ 12 ⇔ 13 ⇔ 14 ⇔ 15 ⇔ 16 ⇔ 全て <div style="background-color: yellow; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <注意> ビデオロスをイベントとして録画を実行する場合は、ビデオロスの発生したチャンネル以外のチャンネルを録画するように設定してください。 </div>
システム	未使用(システムイベントによるイベント録画は出来ません。)
※	ボタンを押すと、「イベント編集」ウインドウを開きます。 参照→50 ページ

例

- アラーム入力 2 がトリガされた場合にチャンネル 2 を録画
- チャンネル 3 でモーションを検出した場合にチャンネル 3 を録画

アラーム入力 2 がトリガされた場合に、
チャンネル 2 を録画する。

チャンネル 3 でモーションを検出した場合に
チャンネル 3 を録画する。



アラーム、モーション、ビデオロスの欄に表示される内容の意味は、次表のようになります。

表示	説明
数字(1~16)	選択した 1 つのチャンネル番号
全て	全てのチャンネルを選択した場合
※	全てではないが、複数のチャンネルを選択した場合(イベント編集で確認・設定が必要)

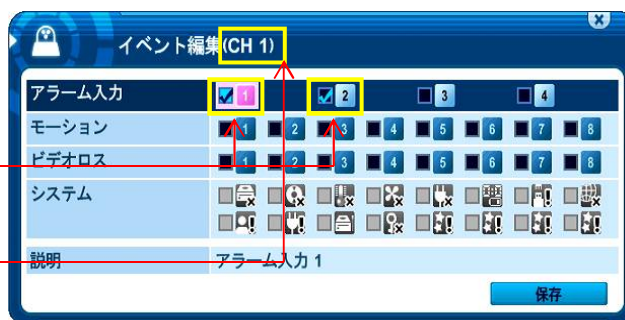
1 イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、イベント録画のためのイベントを、より詳細に設定することができます。

例

チャンネル 1 またはチャンネル 2 のアラーム入力 がトリガされたときにチャンネル 1 のカメラをイベント録画します。

アラーム入力 1 と
2 を利用して
チャンネル 1 の映
像をイベント録画



この状態で、元の **「デイイベント」** メニューに戻ると、チャンネル 1 のアラーム欄は「※」になっていることが確認できます。



<注意> 「録画」メニューの「イベント編集」では、システムイベントを取扱うことはできません。

2 連続録画 + イベント (モーション/アラーム/ビデオロス) 録画

連続録画とイベント録画は同時に設定することが出来ます。DVR は 24 時間通してビデオデータを記録しますが、イベントが発生したとき、連続録画とは違うフレーム数と画質を設定することが出来ます。

例



●REC (録画) ボタンを押すと、「30FPS」の「高画質」で連続録画が開始されます。イベントが発生すると、3ch と 4ch が「30FPS」の「超高画質」に変わります。そして、イベントの後、事後録画期間が終了すると連続録画に戻ります。

<注意>

上の例のように予約録画を使用しない例では、モーション、アラーム、ビデオロスのようなイベント録画を起動するためのイベントは、「デイベント」タブで決定しなければなりません。

5 ナイト

「ナイト」タブでは、「予約録画使用」が「オン」の場合の常時録画とイベント録画のフレーム数と画質を設定します。この設定は「予約録画」で「デイ」と「非録画」が割り当てられていない日時に対して適用されます。また、「連続」と「イベント」の両方を設定することで、通常時と、イベント発生時で異なる録画設定を適用することが出来ます。

録画						
一般 モード デイ デイイベント ナイト ナイトイベント						
CH.	解像度	音声	常時録画		イベント録画	
			F/S	画質	F/S	画質
1	960H	オフ	30	高画質	オフ	超高画質
2	960H	オフ	30	高画質	オフ	超高画質
3	720P	オフ	30	高画質	オフ	超高画質
4	720P	オフ	30	高画質	オフ	超高画質
5	960H	オフ	30	高画質	オフ	超高画質
6	960H	オフ	30	高画質	オフ	超高画質
7	OFF	オフ	オフ	高画質	オフ	超高画質
8	OFF	オフ	オフ	高画質	オフ	超高画質

保存

ナイト タブの設定項目は、デイ タブと同じです。

参照 → 47 ページ

<注意> 一般 タブで「予約録画使用」を オフ に設定している場合 ナイト タブは利用できません。

6 ナイトイベント

ナイトイベント タブでは、「予約録画使用」が オンの場合に、どのような情報に基づいて、どのチャンネルのイベント録画を実行するのかを設定します。また、この設定は「予約録画」で「デイ」と「非録画」が割り当てられていない日時に対して適用されます。

録画					
一般 モード デイ デイイベント ナイト ナイトイベント					
CH.	アラーム入力	モーション	ビデオロス	システム	※
1	オフ	オフ	オフ	オフ	🔒
2	オフ	オフ	オフ	オフ	🔒
3	オフ	オフ	オフ	オフ	🔒
4	オフ	オフ	オフ	オフ	🔒
5	オフ	オフ	オフ	オフ	🔒
6	オフ	オフ	オフ	オフ	🔒
7	オフ	オフ	オフ	オフ	🔒
8	オフ	オフ	オフ	オフ	🔒

保存

ナイトイベント タブの設定項目は、デイイベント タブと同じです。

参照 → 49 ページ

<注意>

一般 タブで「予約録画使用」を オフ に設定している場合 ナイトイベント タブは利用できません。

4 予約録画



「予約録画」メニューでは、予約録画のスケジュールを設定します。予約録画を有効にするには、「録画」メニューの **一般** タブで「予約録画使用」を **オン** に設定してください。 **参照** → 44 ページ



1 予約録画設定

予約録画設定 タブでは、各曜日の時間帯に「デイ」ゾーン「ナイト」ゾーン及び「録画休止」ゾーンを割り当てることで、録画スケジュールを作ります。

「予約録画使用」を「オン」にした場合の初期設定では、全て時間帯が「ナイト」ゾーンに設定されています。



マウスの場合は曜日をクリックすると、その曜日の設定するためのウインドウに入ります。リモコンの場合は▲▼(上下)ボタンで曜日を選択し、OKボタンを押します。

番号	モード	開始	終了	状態
1	ナイト			
2	ナイト			
3	ナイト			
4	ナイト			
5	ナイト			
6	ナイト			
7	ナイト			
8	ナイト			
9	ナイト			
10	ナイト			

保存

「モード」欄では、両端の▢または▢をクリックすることで「デイ」「ナイト」「非録画」を選択できます。リモコンでは▲▼◀▶(方向)ボタンで、項目を移動し、+ - ボタンで値を変更します。

「開始」及び「終了」の欄はマウスで▢ボタンをクリックしてバーチャルキーボードを使用して入力します。リモコンの場合は数字ボタンとバーチャルキーパッドのどちらでも入力できます。

番号	モード	開始	終了	状態
1	デイ	00:00	08:00	
2	非録画	16:00	24:00	
3	ナイト			
4	ナイト			
5	ナイト			
6	ナイト			
7	ナイト			
8	ナイト			
9	ナイト			
10	ナイト			

保存

番号	モード	開始	終了	状態
1	デイ	00:00	08:00	
2	非録画	16:00	24:00	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9	ナイト			
10	ナイト			

保存

項目	説明
番号	登録順の通し番号です。(変更は出来ません)
モード	デイ(デイゾーン)、 <u>ナイト</u> (ナイトゾーン)、非録画(録画休止)ゾーンを選択します。
開始	デイゾーンと録画休止ゾーンの開始時刻を指定します。
終了	デイゾーンと録画休止ゾーンの終了時刻を指定します。
状態	スケジュールが重複した場合と開始時刻と終了時刻が同じまたは終了時刻が開始時刻より前の場合に警告を表示します。

時間重複で保存を強行した場合の警告

不適切な期間の保存を強行した場合の警告

<注意>

- ナイトゾーンの開始及び終了時刻を設定することは出来ません。デイゾーンと録画休止ゾーンに設定されていない時間帯が自動的にナイトゾーンと認識されます。
- 予約録画では、開始時刻と同じまたは開始時刻より早い時刻を終了時刻として設定することは出来ません。

変更を保存して元のメニューに戻るには、マウスで **保存** ボタンを左クリックするかリモコンでカーソルを **保存** ボタンに合わせ **OK** ボタンを押します。変更せずに、元のメニューに戻るには、マウスで **X** ボタンを左クリックするかリモコンの **☒ CANCEL/ESC** ボタンを押します。

さらに、この設定を他の曜日も適用する場合には、カーソルをコピー元の曜日のボタンに合わせた状態で、マウスのスクロールホイールをクリックするか、リモコンで **田 DISPLAY** ボタンを押します。



変更を保存して、元のメニューに戻るには、マウスで **保存** を左クリックします。リモコンの場合は **保存** ボタンにカーソルを合わせて **OK** を押します。

変更を保存せずに、元のメニューに戻るには、マウスで **X** を左クリックします。リモコンの場合は **CANCEL/ESC** を押します。

<情報>

曜日の **カスタム** は、休日設定の中で使用するための特別なスケジュールです。編集の方法は他の曜日と同じですが、他の曜日との間でスケジュールをコピーすることはできません。

2 休日設定

休日設定 タブでは、1 年間に連続 15 日間までの例外的なスケジュールを最大 16 回設定することができます。

カーソル (強調表示されているメニュー) は、**▲▼◀▶** (方向) ボタンを使って動かすことができます。



「モード」と「日数」の変更は項目の両端の **□** をマウスで左クリックします。リモコンの場合 **+** **-** ボタンで選択し、「月/日」はバーチャルキーパッドまたは数字ボタンで入力します。



項目	説明
モード	<p>休日設定された日付の範囲に適用するスケジュールを選択します。</p> <p>オフ ⇄ デイ ⇄ ナイト ⇄ 非録画 ⇄ 日 ⇄ 月 ⇄ 火 ⇄ 水 ⇄ 木 ⇄ 金 ⇄ 土 ⇄ カスタム</p> <p><情報> 「デイ」「ナイト」「非録画」は適用される日の全ての時間帯にその状態が適用されることを意味します。</p>
月/日	休日設定の適用開始日を「月/日」で指定します。
日数	休日設定を適用する日数を指定します。(最大 15 日)

<注意>

1つのスケジュールが翌年に及ぶ場合、翌年の分は実行されません。翌年の分は1月1日から別のスケジュールとして登録するようにしてください。

変更を保存して、元のメニューに戻るにはマウスで **保存** を左クリックします。リモコンの場合は **保存** ボタンを選択し **OK** を押します。変更せずに、元のメニューに戻るには、マウスで **X** を左クリックします。リモコンの場合は **☒ CANCEL/ESC** を押します。

5 ディスク

「ディスク」メニューでは、内臓及び外付け記憶装置の管理機能を提供します。

1 ディスク管理

ディスク管理 タブでは、記憶装置の使用法を割り当て、フォーマットすることができます。

1. リモコンの場合、カーソル（強調表示されているメニュー）は、**▲▼◀▶**（方向）ボタンを使って動かすことができます。
2. HDD または USB ストレージデバイスをフォーマットまたは録画用に割当てするには、「選択」欄内で対象のデバイスをチェックします。（マウスで左クリックするかリモコンで **OK** ボタン）
3. 「動作」欄左側で処理を選択します。マウスの場合 **+** **-** ボタンをクリックします。リモコンの場合は **+** **-** ボタンを使います。
4. 選択した処理を実行するには「動作」欄右側の **開始** ボタンを左クリックします。リモコンの場合は **開始** に移動し **OK** ボタンを押します。



① 選択

ここでは、接続されているデバイスの中で、録画用に割り当てられていない HDD と本機が認識しているその他の記憶装置が表示されます。

項目	説明
デバイス	<p>デバイスの接続されているポートを示します。 チェックボックス：ウインドウ下部の 動作 で処理を指定するためのデバイスをチェックします。 I N T - A : 内蔵 SATA HDD I N T - B : 内蔵 SATA HDD E X T 1 - A : 外付け e-SATA HDD U S B F - A : 前面の USB 端子に接続されたデバイス U S B R 1 - A : 背面の USB 端子に接続されたデバイス</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p><注意> 本機に内蔵可能な HDD は 1 台です。「INT-A」と「INT-B」の両方を使うことは事実上出来ません。</p> </div>
容量	デバイスのおおよその総容量
状態	<p>記録されているデータの種類または機器の種類を示します。 不 明：新しいデバイスまたは本機で読み書きできないフォーマットのデバイス データが存在しません：録画用またはバックアップ用にフォーマットされ、未使用のデバイス 録 画 デ ー タ：録画データが保存されているデバイス バックアップデータ：専用形式のバックアップデータが保存されているデバイス 他 の デ ー タ：AVI ファイルを含む、録画またはバックアップ以外のデータが記録されたデバイス</p>

② 動作

「選択」欄のチェックボックスでチェックされた HDD に対しての処理方法を決定します。

項目	説明
無し	何も実行できません。(初期状態)
録画ディスクに指定	<p>選択されたデバイスを録画用としてフォーマットします。 選択されたデバイスは、フォーマットの後 録画用ディスク タブに移動されます。 内蔵 SATA HDD 及び外付け e-SATA HDD が録画用として利用できます。</p>

バックアップ用フォーマット	選択されたデバイスをバックアップ用としてフォーマットします。 USB メモリー及びUSB HDD がバックアップ用として利用できます。
録画ディスクリンク	既に録画された録画用 HDD を、フォーマットせずに録画用 HDD として割り当てます。 この機能には次に示す制限があります。 ① DVR に他の録画用 HDD が割り当てられていないこと。 ② 割り当てる HDD が、本機と同型の DVR で録画用ディスクとして記録された HDD であること。(他機種の録画用ディスクは使用できません) ③ HDD 内に記録されたデータに時間的な重複が無いこと。

<注意>

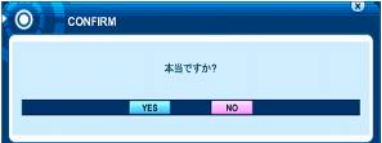
- USB デバイスを録画用に割り当てることは出来ません。バックアップだけに制限されます。
- SATA デバイス及び e-SATA デバイスをバックアップ用に割り当てることは出来ません。

2 録画用ディスク

録画用ディスク タブでは、ディスク管理 タブ内で録画用に割り当てた HDD のみがリストとして表示され、**除去** ボタンで割り当てを解除することができます。



カーソル（強調表示されているメニュー）は、リモコンの (方向) ボタンを使って動かすことができます。

項目	説明
容量, 範囲	次の 2 項目を表示します。 ● HDD の使用量／総容量 ● 最も古い映像の録画日 ～ 最も新しい映像の録画日
デバイス	HDD の接続されているポートを示します。 I N T - A : 内蔵 SATA HDD I N T - B : 内蔵 SATA HDD E X T 1 - A : 外付け e-SATA HDD
状態	録画用 HDD の状態を示します。通常は「安定」と表示されています。
動作	除去 ボタンで HDD を録画用から解除できます。 次のような確認メッセージが表示された後、 YES を選択すると解除を実行します。 

3 S.M.A.R.T 情報

番号	ID	不良セクタ-	温度	時間	状態
1	INT-A	0	43 度	9 日	正常
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

項目	説明
ID	HDD の接続されているポートを表示します。 INT-A : 内蔵 SATA HDD INT-B : 内蔵 SATA HDD EXT1-A : 外付け e-SATA HDD
不良セクタ	HDD の不良セクタ数を表示します。(代替処理済セクタ数)
温度	HDD の温度を表示します。
時間	HDD の使用時間の合計を表示します。
状態	HDD の状態を表示します。 正 常 : 良好 異 常 可 能 性 : 問題があるかもしれない警告 異常可能性履歴 : 以前に「異常可能性」が起きた 損 傷 : 異常発生 要交換

6 ネットワーク

「ネットワーク」メニューでは、本機を LAN 接続して使用する場合の、ネットワークに関する設定ができます。



1 IP 設定

IP 設定 タブでは、TCP/IP に関する設定ができます。

項目	説明
LAN 設定	本機に、TCP/IP 設定を割り当てる方法を選択します。 固定 IP : 本機の TCP/IP 設定を直接手作業で入力します。 IP 自動割当 : 本機の TCP/IP 設定を DHCP サーバから自動的に割当てます。
IP アドレス	本機の IP アドレスを入力します。
ネットマスク	本機が接続されるネットワークのネットマスクを入力します。
ゲートウェー	本機が接続されるネットワークのゲートウェーの IP アドレスを入力します。
第 1 DNS サーバ	本機が利用するプライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。
第 2 DNS サーバ	本機が利用するセカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。(任意)

<注意>

- 本機を遠隔監視に使用する場合、LAN 上では、本機の IP アドレスが変化しないように設定してください。
- TCP/IP 関連の設定は、本機を接続するネットワークに応じて正しく設定しなければ、通信障害を引き起こす場合があります。企業内等ではネットワーク管理者の指示に従って、設定していただくをお願いします。
- 第 2DNS サーバの登録は任意です。登録しない場合は「0.0.0.0」を入力してください。

2 一般

一般 タブでは、主に遠隔監視に関連するネットワーク設定ができます。

項目		説明
アクセス・ポート		遠隔監視ソフトウェアから、本機にアクセスする場合に使用する TCP サービスポート番号を 0001～9999 の範囲で指定します。インターネット回線では 1024 以上が推薦されます。(初期設定：7000)
使用帯域幅		<p>本機がネットワークを利用する帯域幅を制限できます。低速の設定では正しく映像を表示できない場合があるので、1Mbps 以上に設定してください。</p> <p>無制限 ⇄ 4KBPS ⇄ 8KBPS ⇄ 16KBPS ⇄ 32KBPS ⇄ 64KBPS ⇄ 128KBPS ⇄ 256KBPS ⇄ 512KBPS ⇄ 1MBPS ⇄ 2MBPS ⇄ 4MBPS ⇄ 8MBPS ⇄ 16MBPS ⇄ 32MBPS ⇄ 64MBPS (初期設定：無制限)</p> <p><注意> 二重取り消し線のある設定値の使用は、推薦されません。</p>
アクセスブロック	PING ブロック	オン に設定すると、本機は PING(ICMP ECHO)に応答しなくなります。(初期設定：オフ)
	スキャンブロック	オン に設定すると、本機は遠隔監視ソフトウェアからのデバイスの検索に応答しなくなります。(初期設定：オフ)
接続可否リスト		<p>本機にネットワーク経由でアクセスする機器の IP アドレスを制限することができます。許可または遮断する IP アドレス範囲のリストは ホストリスト タブから入力します。 参照→67 ページ</p> <p>オフ：IP アドレスによるアクセス制限を無効にします。</p> <p>遮断：ホストリスト タブで登録した IP アドレス範囲のホストからのアクセスを拒否します。その他の接続は許可します。</p> <p>許可：ホストリスト タブで登録した IP アドレス範囲のホストからのアクセスを許可します。その他の接続を拒否します。</p>
EASY P2P		<p>この機能はルータのポート転送を設定しなくても遠隔監視ソフトウェアから NAT(NAPT)ルータ越しに LAN 内の DVR に接続するための機能です。</p> <p><重要> 次のページの注意事項も必ずお読みください。</p>
双方向オーディオ		「使用」のチェックボックスをチェックすると、遠隔監視ソフトウェアからの音声を DVR の AUDIO OUT に出力させることができます。
ストリームモード		<p>ライブ映像のネットワーク転送レートを決める方法を選択します。</p> <p>デュアル：分割画面のライブ映像の転送に、「ストリーム属性」で指定した画質設定を適用します</p> <p>最適化：分割画面のライブ映像の転送に、録画用の画質設定をそのまま適用します。(初期設定)</p>
ストリーム属性		<p>「ストリームモード」で「デュアル」を選択した場合の分割画面での画質を設定することができます。</p> <p>低画質 ⇄ 中画質 ⇄ 高画質 ⇄ 超高画質</p>

<情報>

「ストリームモード」と「ストリーム属性」の項目は、8 チャンネル機と 16 チャンネル機だけがありますが 4 チャンネル機には見かけ上ありません。ただし、EMS2 Versin 1.6.4.3 からは遠隔設定でのみ 4 チャンネル機でも設定が可能になっています。ただし、設定項目の名称が以下のように異なります。

DVR での項目の名称	EMS2 Version 1.6.4.2 での項目の名称
ストリームモード	映像モード
ストリーム属性	映像登録モード (※)

※ 上記の EMS2 Versin 1.6.4.2 の項目の名称は誤訳で意味が正しくありませんので DVR の項目の名称に読み換えてください。

<重要な注意>

- EASY P2P 機能を利用した通信は 1 回が 5 分に制限されています。5 分を超える場合は再接続操作が必要です。
- EasyP2P 機能がシステムとして正常に機能するためには、韓国、シンガポール、米国のサーバ全てへの安定した通信が維持されている必要があります。**通信の安定性や信頼性が重視される通信には使用しないでください。**
- EASY P2P は、映像通信経路がシンガポールに迂回されるため通常の遠隔監視接続よりも通信速度が遅くなり、遅延が増加します。
- 工場出荷時の設定では EasyP2P は「オン」に設定されていますが、**プライバシーや機密性を重視する場合は必ず「オフ」にしてください。**

3 E メール

本機は、イベント発生時にイベント通知を電子メールで送信することができます。



項目		説明
使用		メール通知の オン オフ と方法を選択します。 オフ ：メール通知しません。 デフォルト ：製造元の提供するメールサーバを利用してメール送信します。 S M T P ：SMTP サーバを使用してメールを送信します。
送信周期	イベント	イベントにより送信するメールを蓄積する時間を指定します。 即時 ⇔ 10 分 ⇔ 1 時間 ⇔ 1 日
	ログ	ログを送信する間隔を指定します。 1 日 ⇔ 1 週間
再試行回数		メール送信に失敗した場合の、再試行回数を指定します。 無し ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 無制限
メール送信 ソース	イベント編集	メールを送信するイベントの種類を選択するための「イベント編集」ウインドウを開きます。
	ログ記録	ログをメールで送信するかどうかを指定します。
画像添付		イベントによるメールに、撮影された静止画像を添付できます。 オフ ：画像を添付しません オン ：画像を添付します。
E メールアドレス		送信先のメールアドレスを、32 文字以内で最大 5 箇所まで指定できます。

＜注意＞

- メールアドレスの大文字と小文字は区別されます。(弊社従来機種を使用された経験のあるお客様はご注意ください)
- 本機の E メール通知機能で送信される電子メールは英文です。日本語には対応しておりません。
- 本機の E メール通知機能による電子メールは携帯電話等、一部の端末で受信できない場合があります。
- ログの送信周期よりも HDD のデータの保存期間が短い場合、メールの送信時点で既に HDD から自動的に削除されてしまった期間のログは送信されません。
- イベントによるメール通知に画像を添付するには、該当するイベントによってイベント録画が実行されていなければなりません。イベント録画を伴わないイベントには画像は添付されません。
- 添付される画像のチャンネルはイベントの発生したチャンネルではなくイベントによって録画されたチャンネルの画像です。
- 宛先の E メールアドレスは “To” 宛で送信されます。従いまして、複数の宛先を設定した場合、

1 イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、メールを送信するイベントの種類を選択します。



「イベント編集」ウインドウの基本的な操作は、イベント録画の場合と同じですが、E メール用の場合には、システムイベントが含まれます。システムイベントのチェックボックスのアイコンについては、次表に示します。

	HDD ディスク障害		管理者ログイン
	録画システム障害		停電復旧
	RTC 用電池電圧低下警告		ディスク満杯
	外部機器イベント		パスワード繰り返しエラー (パスワード間違い)
	ネットワークリンク切断		

4 SMTP

E メール タブの「使用」で「SMTP」を選択した場合には SMTP サーバに関する設定が必要です。

項目	説明
サーバー	電子メール通知の送信に使用する SMTP サーバを 27 文字以内で指定します。
接続	SMTP サーバに接続する場合の暗号化の設定をします。 NORMAL : 暗号化をしません。 S S L : SSL 方式で暗号通信します。 T L S : TLS 方式で暗号通信します。
ポート設定	SMTP サーバのサービスポート番号を指定します。 初期設定 : 25 <情報> サブミッション・ポートの場合、「587」に変更してください。
認証	SMTP サーバの認証機能の有無を指定します。 オフ : 認証機能のない SMTP サーバに接続する場合に指定します。 オン : 認証機能のある SMTP サーバに接続する場合に指定します。 (SMTP AUTH)
ユーザーID	「認証」を「オン」にした場合に SMTP サーバ用のログイン ID を 27 文字以内で指定します。
パスワード	「認証」を「オン」にした場合に SMTP サーバ用のパスワードを 11 文字以内で指定します。
送信アドレス	送信元のメールアドレスを 32 文字以内で入力します。
テスト転送	開始 ボタンで電子メール通知の送信テストを実行します。
<注意> 本機は、送信の前に受信を必要とする通信手順 (POP before SMTP) には対応しておりません。	

5 DDNS (ダイナミック DNS)

DDNS タブでは、ダイナミック DNS サイトのアップデートに関する設定ができます。

一般的なインターネット接続契約では、接続毎または一定時間毎に IP アドレス (インターネットアドレス) が変化します。このような環境に、外部から接続しようとする場合、変化するアドレスに対して適切に接続されなければなりません。ダイナミック DNS では、特定のホスト名を使用することで、変化する IP アドレスに対して適切に接続できるようになります。

項目	説明
使用	<p>オフ：DDNS 機能を使用しません。</p> <p>デフォルト：本機の製造元が提供する DDNS サービスを使用します。</p> <p>DYNDNS：米国“dyndns.com”の提供する DDNS サービスを使用します。</p> <p>NO-IP：米国“noip.com”の提供する DDNS サービスを使用します。</p>
ドメイン名	“DYNDNS” “NO-IP” 利用時のドメイン名をホスト名から 41 文字以内で指定します。
ユーザーID	“DYNDNS” “NO-IP” 利用時のユーザーID を 20 文字以内で指定します。
パスワード	“DYNDNS” “NO-IP” 利用時のパスワードを 11 文字以内で指定します。
アップデートテスト	開始 ボタンで DDNS アップデートのテストを実行します。

「使用」を「DYNDNS」または「NO-IP」に設定した場合、「ドメイン名」「ユーザーID」「パスワード」の設定が必要になります。

使用を「デフォルト」に設定する場合、細かな設定をすることなく DDNS 機能をご利用いただけます。この場合、遠隔監視用の PC 側から見たアドレスは次のようになります。

“hostname”.dvrhost.com

Internet Explorer から入力する場合は次のようになります。

http:// “hostname”.dvrhost.com:“PortNumber”/

<情報>



- “hostname”の部分には、本機 1 台毎に割り当てられた固有のホスト名を利用します。このホスト名は **メニュー** → **システム情報** の **要約** タブ内の「ホスト名」で確認することができます。
- “PortNumber”は本機の「ネットワーク設定」メニュー内で指定された「アクセスポート」を意味します。 **参照** → **61 ページ**

Internet Explorer では“http://gr5418d2.dvrhost.com:7000”になります。

- DDNS サービスは、海外の企業により運用されております。インターネット回線や、サーバの障害等により、動作が不確実になることがあります。高い信頼性を要求される場合には、固定 IP サービスをご利用いただき、IP アドレスで接続していただきますようお願いいたします。
- DVR が接続されているアクセスポイントの IP アドレスが変更されてから、DDNS に反映されるまで、数十分程度時間がかかることがあります。（インターネットの通信事情が悪い海外の渡航先から視聴する場合は 24 時間程度かかる可能性も考えられます）
- 米国 “dyndns.com” 及び “NO-IP” のサービスを利用するには、予め同社への申し込みが必要です。（申し込みは web 上で可能ですが、英文による手続きが必要です。有料サービスもありますので申込時には十分にご確認ください。）

ホストリスト タブでは、**一般** タブの「接続可否リスト」で指定された「遮断」または「許容」に従って、アクセス拒否またはアクセス許可するためのネットワークアドレスとマスク長を指定します。



項目	説明
チェックボックス	<p>この行の「IP/マスク長」の有効と無効を切替えます。</p> <p>: この行に入力された「IP/マスク長」を無効にします。(初期値)</p> <p>: この行に入力された「IP/マスク長」を有効にします。</p>
IP / マスク	<p>「遮断」または「許容」するネットワークアドレスとマスク長を指定します。</p> <p>単一の IP アドレスを指定する場合には、マスク長として「32」を指定します。</p>

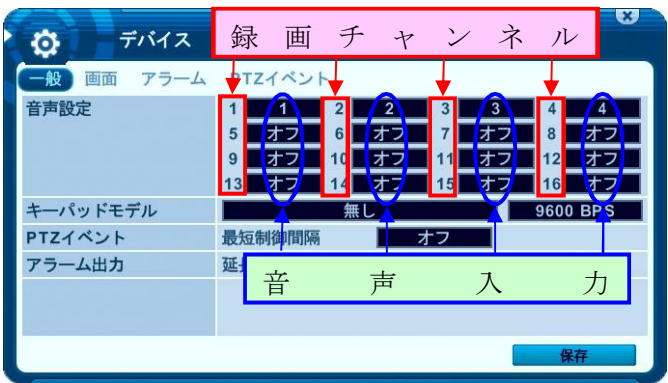
- この機能は遠隔監視ソフトウェアと Web ブラウザからの遠隔接続を制限する機能です。制限されたアドレスからの PING や検索を制限するようなものではありません。

7 デバイス

「デバイス」メニューでは、本機と外部機器の接続に関する設定ができます。

1 一般

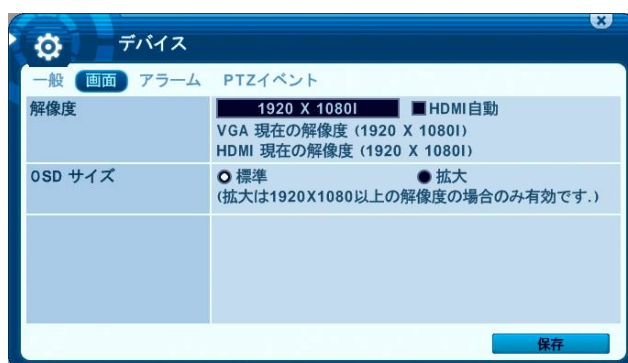




項目	説明
音声設定	<p>どの録画チャンネルに、どの音声入力を割り当てるかを指定します。</p>  <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声と映像は、若干の時間的なずれを生じることがあります。 ● 音声入力チャンネルと録画チャンネルは 1 対 1 で割り当てなければなりません。複数の録画チャンネルに 1 つの音声入力を割り当てたり、1 つの録画チャンネルに複数の音声入力を割り当てたりすることは出来ません。
キーパッドモデル	<p>ジョイスティックコントローラの種類とボーレートを選択します。(予定機能)</p> <p>種類：無し ⇄ デフォルト ⇄ キーパッドⅡ</p> <p>ボーレート：2400BPS ⇄ 4800BPS ⇄ 9600BPS ⇄ 19200BPS ⇄ 38400BPS ⇄ 57600BPS ⇄ 115200BPS</p>

PTZ イベント (最短制御間隔)	<p>PTZ イベントの持続時間を設定します。</p> <p>オフ ⇄ 1 秒 ⇄ 2 秒 ⇄ 3 秒 ⇄ 4 秒 ⇄ 5 秒</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> <p><注意></p> <p>この機能は、正しく設定しても、一部の機能が正常に動作しない場合があります。これは、本機の製造元と、PTZ カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保つことが困難なためです。従いまして、PTZ 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上でご使用いただきますようお願い致します。</p> </div>
アラーム出力 (延長時間)	<p>本機のアラーム出力を引き起こしている元のイベントが終了してから本機がアラーム出力を終了するまでの時間を設定します。本機のアラーム信号の持続時間が短すぎることによって本機のアラーム信号を受信している側の機器がトリガされない場合に、適切な時間を設定してください。</p> <p>オフ ⇄ 1 秒 ⇄ 2 秒 ⇄ 3 秒 ⇄ 4 秒 ⇄ 5 秒</p>

2 画面

画面 タブでは、接続するディスプレイの解像度を設定します。



項目	説明
解像度	<p>VGA 出力及び HDMI 出力の解像度を以下から選択できます。 800×600 ⇔ 1024×768 ⇔ 1280×720 ⇔ 1280×1024 ⇔ 1920×1080I ⇔ 1920×1080P HDMI モニタが接続されていて「HDMI 自動検出」がチェックされている場合は自動設定されます。(初期設定ではチェックされています) 「現在の解像度」の右側のカッコ内には現在表示中の解像度を表示します。</p> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● HDMI 接続されたモニタでは、正しいアスペクト比(縦横比)が得られないことがあります。その場合は、モニタを VGA OUT に接続して、アスペクト比を適切に設定してください。(HD 用カメラに合わせる場合は 16:9、SD 用カメラに合わせる場合は 4:3) ● この設定は、VGA と HDMI の両方に適用されます。(ただし「HDMI 自動」がチェックされている場合には HDMI 出力の解像度は自動設定された解像度が優先されます。) ● 解像度の設定を手作業で実施する場合、低い解像度から順に試してください。 ● VGA と HDMI を同時に使用する場合に、片方のモニタが正しく表示されないときは、「HDMI 自動」のチェックを外してから、手作業で低い解像度から順に試し、両方のモニタが対応する解像度を探してください。 ● 解像度変更は、DVR の再起動後に実際の表示に適用されます。録画停止中の場合は再起動を確認するメッセージが表示され「はい」を選択すると自動的に再起動が実行されます。録画中の場合は再起動を促すメッセージだけが表示されますので「はい」で確認後、改めて手作業で録画を停止し再起動してください。 ● 再起動を確認するメッセージで「いいえ」を選択した場合でも、設定値の変更は保存されます。
OSD サイズ	<p>画面表示の解像度が「1920×1080」に設定されている場合に、メニュー画面や文字及びアイコン等を拡大表示することができます。 標準：従来の大きさで表示されます。 拡大：拡大表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>標準</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>拡大</p> </div> </div>

<注意>

- OSD 拡大機能はファームウェアバージョン R7669 で追加された機能です。それ以前のバージョンにこの機能はありません。
- OSD 拡大機能は、画面表示の解像度が「1920×1080」の場合にだけ実際の表示に適用されます。その他の解像度の場合は、設定の変更は可能ですが実際の表示には適用されません。
- OSD 拡大機能の変更は、DVR の再起動後に実際の表示に適用されます。録画停止中の場合は再起動を確認するメッセージが表示され「はい」を選択すると自動的に再起動が実行されます。録画中の場合は再起動を促すメッセージだけが表示されますので「はい」で確認後、改めて手作業で録画を停止し再起動してください。
- 再起動を確認するメッセージで「いいえ」を選択した場合でも、設定値の変更は保存されます。

3 アラーム

アラーム タブでは、アラーム入出力及びアラームブザーに関する設定ができます。

入力	1	2	3	4
出力	N.O.	N.O.	N.O.	N.O.
ブザー	オン	イベント	イベント	イベント

項目		説明
入力		<p>各アラーム入力の入力方式を切替えます。</p> <p>オフ：アラーム入力を無効にします。</p> <p>N.O.：端子の短絡でアラーム発生と認識します。（一般に火災警報器等に使用）</p> <p>N.C.：端子の開放でアラーム発生と認識します。（一般に侵入センサー等に使用）</p>
出力	使用	<p>アラーム出力の出力方式を切替えます。</p> <p>オフ：アラーム出力を無効にします。</p> <p>N.O.：アラーム発生で端子を短絡します。</p> <p>N.C.：アラーム発生で端子を開放します。</p>
	停止方法	<p>アラーム発生後、アラーム出力を通常の状態に戻す方法を指定します。</p> <p>イベント：アラームを引き起こしたイベントが終了すると自動的に通常の状態に戻します。</p> <p>手動設定：このメニューの右側にある「制御」欄の オフ ボタンで通常の状態に戻します。（自動的に復帰しません）</p>
	※	アラーム出力のための「イベント編集」ウインドウを開きます。
	制御	<p>アラーム出力の オンとオフ を直接手作業で実行するボタンです。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> <p><注意></p> <p>ボタン上の オン オフ の表示は、ボタンを操作した後の状態を示すもので、現在の状態を示すものではありません。</p> </div>
	※	アラーム出力のための「イベント編集」ウインドウを開きます。
ブザー	使用	<p>オフ：アラームブザーを無効にします。</p> <p>オン：アラームブザーを有効にします。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: lightblue; padding: 5px;"> <p><情報></p> <p>キー操作音の「オン」と「オフ」は「システム」メニューの 一般 タブ内で切り替えます。</p> <p style="text-align: right;">参照→74 ページ</p> </div>
	停止方法	<p>アラーム発生後、アラームブザーを止める方法を指定します。</p> <p>イベント：アラームを引き起こしたイベントが終了すると自動的に止めます。</p> <p>手動設定：同メニューの右側にある「制御」欄の オフ ボタンで止めます。</p>
	※	アラームブザーのための「イベント編集」ウインドウを開きます。
	制御	<p>アラームブザーの オン オフ を直接手作業で実行するボタンです。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> <p><注意></p> <p>ボタン上の オン オフ の表示は、ボタンを操作した後の状態を示すもので、現在の状態を示すものではありません。</p> </div>
	※	アラームブザーのための「イベント編集」ウインドウを開きます。

1 イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、アラーム出力またはブザーを鳴動させるイベントの種類を選択します。



「イベント編集」ウインドウの基本的な操作は、Eメール用の場合と同じで、システムイベントが含まれます。システムイベントのチェックボックスのアイコンについては、次表に示します。

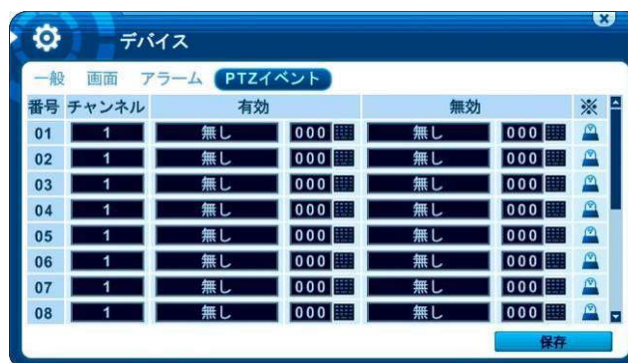
	HDD ディスク障害		管理者ログイン
	録画システム障害		停電復旧
	RTC 用電池電圧低下警告		ディスク満杯
	外部機器イベント		パスワード繰り返しエラー (パスワード間違い)
	ネットワークリンク切断		

4 PTZ イベント

<注意>

この機能は、正しく設定しても一部の機能が正常に動作しない場合があります。これは、本機の製造元と、PTZ カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保つことが困難なためです。従いまして、PTZ 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上でご使用いただきますようお願い致します。

アラームトリガ、モーション検出またはビデオロス発生のような場合、本機は予め設定した命令を PTZ カメラに送ります。この機能が動作する前提として PTZ オプションが有効にされ、そしてカメラチャンネルにプロトコルが割り当てられていなければなりません。



項目	説明
チャンネル	希望する PTZ カメラのチャンネルを選択します。 設定範囲：1 ～ 16
有効	イベントが検出されたとき、PTZ アクション[<u>無し</u> ⇄ 位置 ⇄ ツアー] 及びプリセット番号またはツアーグループを設定します。
無効	イベント持続時間が切れた後のプリセット番号またはツアープリセット番号を選択します。

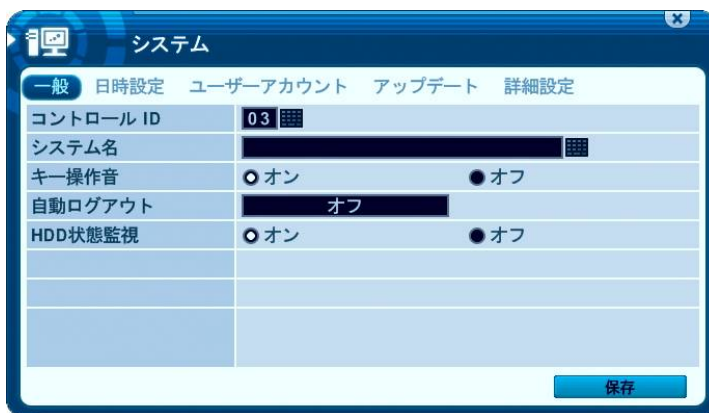
<注意>

- PTZ イベントのために同じ PTZ カメラのモーション検出を利用すると、信号がループし誤作動しますので、そのような設定はしないでください。

8 システム

システムメニューでは、本機のシステムに関する基本的な設定ができます。

1 一般



項目	設定
コントロール ID	<p>本機の「コントロール ID」とリモコンの「DVR ID」を合わせることで、同じ番号同士の DVR とリモコンの組み合わせだけで操作できるようになります。 00 ～ 99（初期設定 00） ただし、“00” だけは例外で次のように機能します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの DVR ID が “00” の場合、DVR のコントロール ID に関係なく、全ての DVR を操作できます。 ● DVR のコントロール ID が “00” の場合、リモコンの DVR ID に関係なく、どのリモコンからの操作も受け付けます。 <p>DVR ID の変更方法については 16 ページの「DVR ID」を参照してください。</p>
システム名	<p>システム名を設定すると、本機を遠隔監視ソフトウェアで 検索 ボタンを使って登録したときに、この名称が自動的に DVR 名称の初期設定になります。使用可能な文字は 27 文字以内の半角英数及び一部の特殊記号のみです。</p>
キー操作音	<p>キー操作時のブザー音の オン と オフ を選択します。（初期設定：オン）</p>
自動ログアウト	<p>本機の操作をしない状態で、指定した時間が経過した場合、自動的にログアウトするまでの時間を以下の選択肢から選択できます。初期設定：3分 オフ ⇄ 1分 ⇄ 3分 ⇄ 5分 ⇄ 10分 ⇄ 30分 ⇄ 60分 ⇄ 120分</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;"> <p><注意> 再生動作中に、現在ログイン中のユーザーがタイムアウトした場合、再生は自動的に停止しライブ監視状態に戻ります。長時間の連続再生をしたい場合は「オフ」に設定してください。</p> </div>
HDD 状態監視	<p>HDD の自己診断情報 (S.M.A.R.T) を取得するかどうかを選択します。 オフ：本機は HDD の自己診断情報を取得しません。 オン：本機は HDD の自己診断情報を取得します。</p>

2 日時設定

日時設定 タブでは本機に内蔵された時計の日時設定と時刻同期に関する設定ができます。

<注意>

本機をご購入後、初めて使用される前には、必ず日時とタイムゾーンを設定してください。

The screenshot shows the 'System' settings window with the 'Date/Time' tab selected. The settings are as follows:

- タイムゾーン: GMT+09:00 (Standard)
- 日付表示形式: 年/月/日
- NTP時刻同期: オン
- NTPサーバー: ntp.nict.jp
- NTP同期テスト: 開始
- 日付: 2015/01/30 (年/月/日)
- 時間: 10:46:19 (時:分:秒)

A '保存' (Save) button is located at the bottom right of the window.

項目	説明
タイムゾーン	協定世界時(UTC)またはグリニッジ標準時(GMT)との時差を指定します。 日本標準時 (JST) の場合は GMT +09:00 (STANDARD) を指定します。 初期設定 : GMT +09:00 (STANDARD)
日付表示形式	日付の表示形式を以下から選択します。(初期設定 年/月/日) 年/月/日 ⇔ 月/日/年 ⇔ 日/月/年
NTP 時刻同期	オフ : NTP 時刻同期機能を使用しません。 オン : NTP 時刻同期機能を使用します。
NTP サーバー	本機が時刻の基準とする NTP サーバのアドレスを 27 文字以内の半角英数で指定します。
NTP 同期テスト	開始 で NTP サーバとの通信テストを実行します
日付	日付を入力します。(「NTP 時刻同期」が オンの場合は無効)
時間	時刻を入力します。(「NTP 時刻同期」が オンの場合は無効)

<情報>

- 本機は、NTP(Network Time Protocol)による時刻同期クライアント機能を有しており、正確な時刻元に同期させることで、内蔵時計の時刻合わせを自動化することができます。
- NTP サーバは、企業内で準備していただくか、公的な機関がインターネットで公開している公開 NTP をご利用ください。

<注意>

- NTP は、全世界で共通に利用されている時刻同期の方式です。従いまして、たとえ国内で提供されているサービスであってもタイムゾーン（協定世界時に対する時差）を正しく設定していただく必要があります。
- 参照先 NTP サーバが十分な安定度を持たない場合、同期できない場合があります。（悪い例：一般のパソコンの内蔵時計を時刻源にする）
- 日時を修正することによって、録画されたデータに日時の重複が発生してしまった場合、重複した範囲は正常に再生出来なくなります。
- **日時設定** タブの修正は録画を止めてから、おこなってください。
- NTP 機能は、本機をインターネット等の NTP サーバに接続しているときだけ「オン」にしてください。NTP サーバが無い状態で「オン」にすると時計が大幅に狂います。
- NTP による時刻修正は不定期に実行されますが、実行の瞬間一時的に録画が自動停止されます。

3 ユーザーアカウント

ユーザーアカウント タブでは、本機を操作することができるユーザーと、その操作権限を設定します。



項目	説明
ユーザー/名称	ユーザー：ユーザーの種類を「管理者」及び「ユーザー1」～「ユーザー10」の合計 11 人から選択できます。 名 称：11 人のそれぞれのユーザーに固有の名称を 16 文字以内の半角英数で付けることができます。（大文字も小文字も使用可能ですが、ネットワーク接続時には大文字小文字は区別されません）
有効化	オフ：選択されたユーザーを無効にします。 オン：選択されたユーザーを有効にします。 初期値：管理者= オン その他のユーザー： オフ
権限	選択された管理者以外のユーザーの権限を以下の 6 項目について有効と無効を切替えることができます。 <div> 再生 PTZ 制御 バックアップ 設定 録画停止 </div> <div> システムシャットダウン </div>

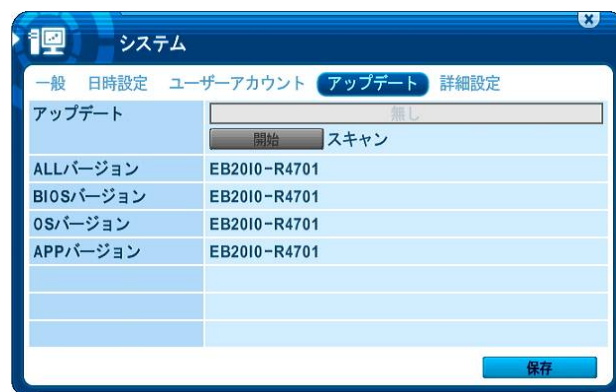
遠隔用パスワード		<p>それぞれのユーザーが、ネットワーク経由で本機に接続するときに使用するパスワードを選択します。</p> <p>接 続 制 限：選択されたユーザーがネットワーク経由で接続できないようにします。</p> <p>システム P/W：選択されたユーザーが本機を直接操作するときに使用するパスワードを、ネットワーク接続用にも併用できるようにします。</p> <p>文 字 数：半角 6 文字（固定長）</p> <p>利用可能な文字種：A～Z, a～z, 0～9, その他一部の半角記号</p> <p>カスタム P/W：選択されたユーザーのために、ネットワーク接続専用のパスワードを作成できるようにします。</p> <p>最 大 文 字 数：半角 14 文字</p> <p>利用可能な文字種：A～Z, a～z, 0～9, その他一部の半角記号</p> <p>初期値：管理者=<u>システム P/W</u></p> <p>その他のユーザー：<u>接続制限</u></p>
使用チャンネル		選択されたユーザーに、視聴を許可するチャンネルを選択します。
システム パスワード	現在	システムパスワード変更時に現在のパスワードを入力します。（管理者のみ）
	新しい	システムパスワード変更時に新しいパスワードを入力します。
	再入力	システムパスワード変更時に新しいパスワードを確認のために再入力します。

<注意>

- 初期設定では、管理者だけが有効化されています。
- 管理者を無効にすることはできません。
- 管理者に初期設定されたユーザー名は“admin”、システムパスワードは非公表です。
- 管理者には全ての権限が与えられており、これを制限することはできません。
- ユーザー1～ユーザー10の「設定」の権限では、「システム」メニューと「ディスク」メニューに入ることはできません。
- ユーザー1～ユーザー10の視聴可能なチャンネルを制限した場合、ユーザーがログアウトした状態では、有効にされている全てのユーザーに許可されているチャンネル以外のチャンネルは見ることができなくなります。
- 初期設定の状態で管理者の「遠隔用パスワード」は「システムパスワード」に設定されています。
- 初期設定の状態でユーザー1～ユーザー10の各ユーザーの「遠隔用パスワード」は「接続制限」に設定されています。

4 アップデート

アップデート タブでは、本機のファームウェア(FW)のバージョン確認とアップデートを実行できます。



項目	説明
アップデート	アップデートの方法は、下の説明を参照してください。
ALLバージョン BIOSバージョン OSバージョン APPバージョン	各ソフトウェアのバージョンを表示します。

アップデートプログラムは、必要に応じて弊社から代理店・販売店を経由して提供いたします。

アップデート作業は、次の手順で実施します。

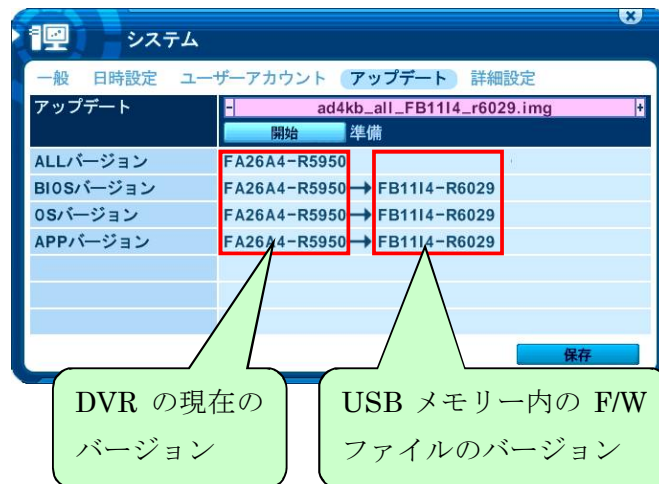
1. 適当な USB メモリーを FAT32 または NTFS でフォーマットしてください。(フォーマット済みの場合は省略可)
2. USB メモリーのルートフォルダに、パソコンで FW ファイルをコピーします。
(USB メモリーに他のファイルやフォルダがある場合は削除します)
3. 本機に LAN ケーブルが接続されている場合は、必ず抜いてください。
4. 録画中の場合は録画を停止してください。
5. USB メモリーを本機に差込みます。
6. メニュー→設定→システム→アップデート と進むと現在の FW バージョンが表示されます。



7. 開始 ボタンを押すと、USB メモリー内のファイルをスキャンします。(ボタンを押した後は 待機 に変化します)



8. ファイルのスキャンを完了すると、上側のボックスでFWファイルを選択可能になります。
9. USB メモリー内に複数バージョンのファイルがある場合は適切なファイルを選択します。マウスの場合、マウスでボックスを左クリックします、リモコンの場合は + - ボタンで選択します。
10. 選択したファイルのバージョン番号が現在のバージョン番号の右側に表示されますので、確認して 開始 ボタンを押します。



11. アップデートが開始され、アップデート中は次のように進捗が表示されます。



12. アップデートを完了すると、進捗が「成功」と表示され、ボタンが 再起動 に変わりますので、本機を再起動させてアップデートは完了します。



<注意>

- アップデート中は、ボタン操作をしたり、本機の電源を切ったりしないでください。故障の原因になる場合があります。
- 本機をアップデートする場合は、必ず販売店または弊社にご相談いただき、正規のアップデートファイルを利用してアップデートを実行していただきますようお願い致します。
- 不正なアップデートファイル（他の輸入事業者が提供するものを含む）によって、本機をアップデートされた場合、その後の故障や損傷につきまして、弊社及び製造元では一切の責任を負わないものとします。
- 不正なアップデートファイルによって、本機をアップデートされた場合、保証期間内であっても保証対象外とさせていただく場合があります。

5 詳細設定

詳細設定 タブでは、システムのその他の設定ができます。



項目	説明
工場出荷時設定	<p>本機を工場出荷時の状態に戻すには「オン」を選択し 保存 を押します。</p> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この機能では、本機のほぼ全ての設定が初期化されますので、誤って実行しないようにご注意ください。 ● ただし、以下の設定項目は、この操作でも初期化されません。 <ul style="list-style-type: none"> ① 「ネットワーク設定」の「IP 設定」タブ内の全ての情報 ② 「システム」設定の「日時設定」タブ内の「タイムゾーン」「日付表示形式」及び時計（現在の日時）の情報 ③ 「システム」設定の「詳細設定」タブ内の「言語」「ビデオモード」
言語	<p>本機の OSD 表示言語を、「日本語」「中国語」「台湾語」「フランス語」「スペイン語」「ドイツ語」「ロシア語」「ポーランド語」「イタリア語」「オランダ語」「ハンガリー語」「ブルガリア語」「チェコ語」「ポルトガル語」「トルコ語」「フィンランド語」「タイ語」「ペルシア語」「ポルトガル語（ブラジル）」「エストニア語」「英語」「韓国語」から選択できます。</p> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の言語設定は「日本語」が初期設定されています。 ● カメラタイトルに日本語を使用している場合に他の言語を選択すると文字化けして元に戻らなくなりますのでご注意ください。誤って他の言語を選択してカメラタイトルが文字化けしてしまった場合は、この設定を日本語に戻してからカメラタイトルを再入力してください。 ● 操作者が理解できない言語に切り替えないでください。容易に元に戻せなくなる場合があります。 ● 弊社は本機を日本語での使用を前提として検査・販売しております。他の言語を選択した場合の不具合等についてはサポート対象外とさせていただきます。
ビデオモード	<p>接続するカメラの種類によって次のように設定します。</p> <p>NTSC：AHD 方式のカメラとして 30FPS のカメラを利用できます。 SD 解像度用のカメラとして NTSC 方式のカメラを利用できます。</p> <p>P A L：AHD 方式のカメラとして 25FPS のカメラを利用できます。 SD 解像度用のカメラとして PAL 方式のカメラを利用できます。</p> <p><注意></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 弊社では、本機を NTSC（日本の標準テレビジョン方式）設定で利用することを前提として輸入販売をしております、PAL（英国方式）に設定した場合の不具合等についてはサポート対象外とさせていただきます。 ● NTSC 設定に適合するタイプのカメラと PAL 設定に適合するタイプのカメラを混在使用することは出来ません。 ● この設定は AHD 方式のカメラに対しても、AHD の NTSC モード（30fps）と PAL モード（25fps）の切換えとして機能しております。 ● この設定は全てのチャンネルに適用されます。カメラ毎に異なる状態に設定することは出来ません。

6 システム情報



「システム情報」メニューでは、本機のシステムに関する情報を表示します。

1 要約



項目	説明
モデル情報	映像圧縮方式やチャンネル数等の本機に関する基本情報を表示します。
ホスト名 (QR コード)	本機のホスト名を表示します。これは、製造元が提供するデフォルトの DDNS 機能を利用する場合に必要です。
MAC	本機の MAC アドレスを表示します。本機を接続するネットワークのルータ設定をする場合等に必要になる場合があります。
言語	本機の GUI 表示言語の名称を表示します。
ネットワーク	本機の IP アドレスと TCP サービスポート番号を表示します。
録画用ディスク容量	現在の設定で本機に録画可能な映像データの最大容量を表示します。
ディスク概要	本機の録画用ディスクの構成を表示します。
バージョン	本機の F/W バージョンを表示します。

<情報>

ウインドウ右上の QR コードは、DVR のホスト名を示しています。Android や iOS 端末から EasyP2P 接続設定をする場合に利用できます。

2 ディスク

ディスク タブでは、本機のドライブ構成を表示します。

ディスク順序	A / F	B / G	C / H	D / I	E / J
内蔵 SATA 端子	4.00T				
外部 SATA 端子 1					
USB 前面					
USB 背面	1.94G				

項目	説明
内蔵 SATA 端子	接続された内蔵 HDD の容量を表示します。
外部 SATA 端子 1	接続された外付け e-SATA HDD の容量を表示します。
USB 前面	前面の USB 端子に接続された記憶装置の容量を表示します。
USB 背面	背面の USB 端子に接続された記憶装置の容量を表示します。

3 ネットワーク

ネットワーク タブでは、ネットワークを通して本機にログインしているユーザーの状態を表示します。

番号	IPアドレス	ユーザー	サービス
1	172.16.0.199	admin	状態
2	172.16.0.203	admin	状態, ライブ
3	172.16.0.203	admin	再生

項目	説明
番号	接続順に番号付けされます。
IP アドレス	接続しているユーザーの IP アドレスを表示します。
ユーザー	接続しているユーザーの名称を表示します。
サービス	利用しているサービスを表示します。

VI パンチルトズームと UTC 制御

<注意>

- この機能は、正しく設定しても一部の機能が正常に動作しない場合があります。これは、本機の製造元と、PTZ 及び UTC カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保つことが困難なためです。従いまして、PTZ 及び UTC 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上でご使用いただきますようお願い致します。
- 本章で説明する UTC (Up The Coax) 機能とは、カメラの設定メニューの操作や PTZ 操作をカメラの映像伝送用同軸ケーブルを利用して実行する機能の事です。協定世界時の UTC (Coordinated Universal Time) の事ではありませんのでご注意ください。

PTZ および UTC 制御は、サポートされたサードパーティー製カメラで利用できます。PTZ オプションは、それぞれのカメラのチャンネルのために設定されなければなりません。PTZ 設定については、「カメラ」メニューの PTZ 設定を参照してください。

参照 → [42 ページ](#)

1 PTZ メニュー

- 1) PTZ 制御を有効にするには、制御したいカメラの全画面表示を選択します。
- 2) 次に、メインメニューで「PTZ」を選択するかリモコンの ⊕ P/T/Z ボタンを押します。






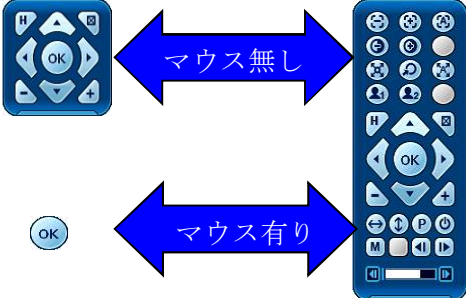


下に示すようなショートカットメニューボックスがポップアップされます。



マウスを接続していないとき



マウスを接続しているとき

表示	動作
	<ul style="list-style-type: none"> 「ヘルプ」メニューを表示するには、このボタンを押します。ヘルプメニューを中止するには、再び MENU ボタンを押します。 
	<ul style="list-style-type: none"> 「パンチルト」オプションを終了するには、このボタンを押します。 全ての機能を使うには、PTZ カメラ制御インターフェースを拡張します。ショートカットメニューにするには再びこのボタンを押します。 
	<ul style="list-style-type: none"> 上下チルト 左右パン
	<ul style="list-style-type: none"> ズームイン・アウト

1 マウスによる PTZ 操作

マウスを右クリックし、メインメニューから PTZ 制御を選択します。




PTZ メニューとコントロールボックスが下図のように表示されます。

マウスポインタを長方形の枠の内側に置き、マウスの左ボタンを押しながら希望する方向にマウスポインタを動かします。


<注意>

マウスポインタは、マウスの左ボタンを押している間、この長方形の枠の外に出すことは出来ません。





バーチャル PTZ コントローラを出すには、 ボタンを左クリックします。ズームイン・アウト、GOTO、ツアー及びその他の機能はバーチャル PTZ コントローラを使うことによって制御できます。



PTZ モードを終了するには、PTZ コントローラの  ボタンを左クリックします。



2 リモコンによる PTZ 操作

リモコンで  P/T/Z ボタンを押すか  MENU ボタンでメインメニューを表示させ「P.T.Z.」を選択します。



下図のようなバーチャルコントローラが表示されます。



▲▼◀▶ ボタンでパンチルト、 ボタンでズーム操作が出来ます。

2 プリセット & ツアー

ボタン	機能
	プリセット位置のセット a. 希望する位置に PTZ を動かす。 b. ボタンを押す。(リモコンの SPOT OUT) c. プリセット位置用の番号をセット。 d. 保存し抜けるために OK を押す。
	プリセット位置に行く a. ボタンを押す。(リモコンの INFO) b. 希望するプリセット # を入力し、 OK を押す。
	自動ツアー開始 a. ボタンを押す。(リモコンの BACKUP) b. プリセットの範囲を入力し、 OK ボタンを押す。

1 ツアーグループ

プリセットされたツアーグループは PTZ プリセットのカメラをプログラムされた順序で動かすことを可能にします。

① 通信設定

適切な機種と、それから一致するボーレートと PTZ ID (アドレス) を入力します。DVR とプロトコルを合わせるには、適切なジャンパ設定のために PTZ の製造元のマニュアルを参照してください。

② ツアー

4 つのプログラム可能なツアーがあります。値を変更するにはマウスで左クリックするか、リモコンの **+** **-** ボタンを使います。

[グループ 1 ⇄ グループ 2 ⇄ グループ 3 ⇄ グループ 4]

③ これはそれぞれのツアーグループのサブメニューです。メニューは左側の欄に設定項目の名称が表示され、右側の欄で設定する値を入力します。

a. グループリスト

それぞれのツアーグループには、最大 10 のプリセット位置を設定できます。

b. プリセット番号

開始プリセット番号と停止プリセット番号を入力します。

c. 持続時間

現在のプリセットの終了と次のプリセットの開始の間の休止をセットします。

d. 変更

このオプションを使ってツアーリストを、 **追加** **修正** **除去** します。

<情報> ツアーリストを追加するには、b ~ d の手順を繰り返します。

3 カスタム機能

ボタン	機能
	PTZ カスタム機能 1：リモコンの DISPLAY (予定機能)
	PTZ カスタム機能 2：リモコンからは操作できません。(予定機能)
	PTZ カスタム機能 3：リモコンからは操作できません。(予定機能)

オートパン／オートチルト／パワー

ボタン	機能
	オートパン：リモコンからは操作できません。(予定機能)
	オートチルト：リモコンからは操作できません。(予定機能)
	電源 オン／オフ：リモコンからは操作できません。(予定機能)

<情報> スピードは 8 段階です。



4 UTC

UTC (Up The Coax) 機能は、対応するカメラの設定メニューを映像信号伝送用の同軸ケーブルを通して操作する機能です。この機能を利用するには使用するカメラが UTC 機能に対応している必要があり、「カメラ」メニューの PTZ 設定で UTC 用のプロトコルが選択されている必要があります。

モデル (プロトコル)	説明
Pelco, Coaxitron Menu	PTZ 機能を持たない UTC 対応カメラ用のプロトコルです。
Pelco, Coaxitron PTZ	PTZ 機能を持つ UTC 対応カメラ用のプロトコルです。

UTC 機能では、上下左右方向()ボタンはカメラのボタンと同じように機能しますが、カメラの **SET** ボタンに対応する本機のボタンはカメラのメーカーや機種毎に異なりますので、下図の矢印のボタンを試してください。。





VII 再生 検索

本機は、再生と検索の2つの再生モードをサポートし、データベースから素早く効率的に特定の範囲を見つけて再生することができる複数の検索機能を持っています。

それは、日時、イベント、イベントエリア、及びログ検索です。

1 再生

ライブモードの状態、ツールバーのアイコンを左クリックするかメインメニューから「再生」を選択すると、録画モードに関わらず最新の録画データを再生します。リモコンの場合はボタンを使います。



録画データの最後に達したときは一時停止状態になります。

本機は、再生中に逆再生、一時停止、16倍までのスピードサーチ、またはコマ送りができます。



一時停止とコマ送りのボタンは兼用です。

<注意>

- 本機は、再生中に何も操作を行わず自動ログアウト設定された時間に達すると、自動ログアウトと同時に再生を停止します。長時間の連続再生をする場合は、自動ログアウトを「オフ」に設定してください。 参照→74ページ
- 分割画面での再生時には毎秒の再生フレーム数は処理の都合上録画された毎秒のフレーム数よりも大幅に低下します。録画された毎秒フレーム数で再生したい場合は 1 画面表示にしてください

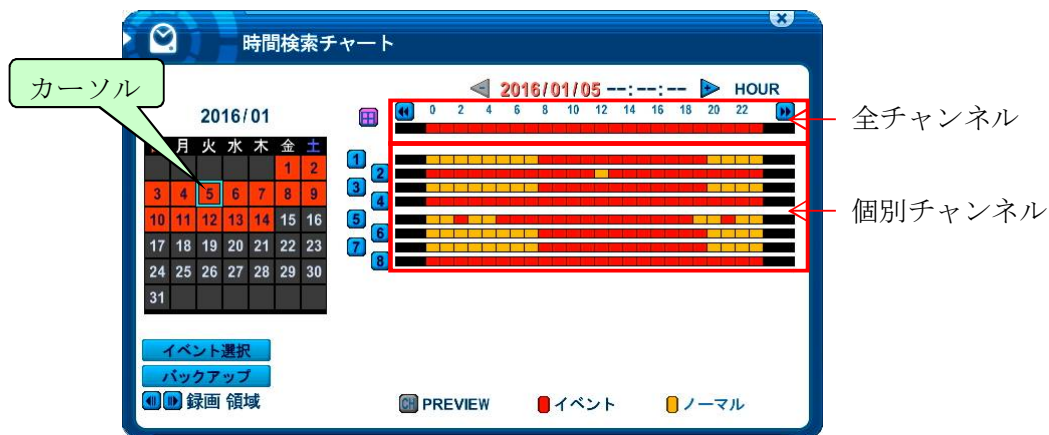
2 時間検索

1. 時間検索チャートにアクセスするにはメインメニューから「時間検索」を選択するか

 TIME SEARCH または  ボタンを押します。



2. カレンダーが表示され、録画データはイベント録画が赤色、連続録画が黄色で表示されます。イベント録画と連続録画が重複する部分は赤色、カーソルは水色の枠で表示されます。



3. 方向 \blacktriangle \blacktriangledown \blacktriangleleft \blacktriangleright ボタンで全チャンネルまたは、個別のチャンネルの見た日付をカーソルで選択します。

分割画面表示で再生したい場合は、「全チャンネル」を選択します。

全画面表示で再生したい場合は、「個別のチャンネル」を選択します。



分割画面で全チャンネルを表示



全画面でチャンネル2を表示

4. \boxplus ボタンを使って「時」を表示させ、さらに \boxplus ボタンで「分」を表示させ、 OK ボタンで再生を開始します。表示範囲を「分」→「時」→「日」と広げるには、 \boxminus ボタンを使います。(マウス操作の場合は \blacktriangleleft \blacktriangleright)



- 再生を開始したい位置で **OK** ボタンを押すと、再生を開始します。(マウス操作の場合はダブルクリック)

<情報>

- 分割画面表示と全画面表示は、再生開始後に切替えることもできます。

3 イベント選択

イベント選択では、時間検索チャートの表示に含めるイベントの範囲を変更することができます。

- 設定を変更するには、時間検索チャート右上の **イベント選択** ボタンを押します。



- 「時間検索選択」ウインドウが開きます。
- 「検索モード」を左クリックして選択肢を変更します。リモコンの場合 **▲▼◀▶** (方向) ボタンでカーソルを移動し変更する項目を選択し、**+** **-** ボタンで値を変更します。
- 保存** ボタンで変更を保存して時間検索チャートに戻ると、検索結果のバーグラフに変更が反映されます。

項目	説明
検索モード	イベント選択の動作モードを選択します。 イベント録画 ：全てのイベント録画を表示します。(初期設定) イベントソース：選択したイベントの種類のイベント録画だけを表示します。 モーションエリア：録画映像の中から、イベント録画の状態に関係なく（連続録画された映像でも可）動きのある部分を検出して表示します。
イベント状態	検索モードで「イベントソース」を選択した場合に選択できるイベントの種類を「イベント編集」ウインドウを使って選択できます。
アラーム	検索モードで「イベントソース」を選択した場合に、アラーム録画を含めるか含めないかを選択します。
モーション	検索モードで「イベントソース」を選択した場合に、モーション録画を含めるか含めないかを選択します。
ビデオロス	検索モードで「イベントソース」を選択した場合に、ビデオロスによる録画を含めるか含めないかを選択します。
システム	未使用

モーションエリア	検索モードで「モーションエリア」を選択した場合に、それぞれのチャンネルのモーション検出エリアを設定します。
----------	---

4 プレビューサーチ

プレビューサーチでは、特定チャンネルの画像を静止画で確認しながらの時間検索が可能です。

1. 時間検索チャート上から特定のチャンネル番号をマウスで左クリックします。リモコンの場合は数字ボタンを使います。



2. 選択された日時の選択されたチャンネルに含まれる画像が6枚抽出されて表示されます。
3. 元の時間検索チャートに戻すには を左クリックします。リモコンの場合は **DISPLAY** ボタンを使います。
4. プレビューサーチの状態から再生を開始するには、次表のように操作します。

再生するチャンネル	マウスの場合	リモコンの場合
全チャンネル	バーグラフをダブルクリック	バーグラフを選択して OK ボタン
選択したチャンネル	画像をダブルクリック	画像を選択して OK ボタン



5 GOTO SEARCH (日時入力検索)

再生を開始したい日時を、バーチャルキーボードやリモコンの数字ボタンで直接入力する方法です。

1. リモコンの **TIME SEARCH** ボタンを2秒間、長押しします。
2. 「時間入力」ウインドウが表示されたら、見たい日時を数字ボタンで直接入力します。



3. **OK** ボタンを押すと再生を開始します。(マウスの場合は **開始**)

<注意>

- この機能はマウスで起動することは出来ません、リモコンで起動してください。

6 ログリスト検索

本機の動作状態を記録したログを閲覧し、そのログに記録された日時から再生することができます。

1. ログを表示するには、メインメニューから「ログ」を選択するかリモコンの **LOG** ボタンを押します。



2. タブにカーソルがある場合は、タブをクリックするかリモコンの **◀ ▶** ボタンでタブを選択することで、次表の分類に分けて表示させることができます。
3. ログのフィールド内にカーソルがある場合は、**▲ ▼** (上下) ボタンでカーソル移動及び **◀ ▶** (左右) ボタンでページ移動ができます。(マウスでのページ移動は **◀ ▶**)



タブ名	説明
オール	全てのログを表示します。
システム	システムに関するログを表示します。
ネットワーク	ネットワークアクセスのログを表示します。
イベント	イベント録画のログを表示します。
ビデオロス	ビデオロス(カメラ入力の映像信号中断)のログを表示します。

<情報> ログリストは録画用ドライブの HDD に保存されます。

1 ログ情報の詳細

ログリストに **i** アイコンがある行は、詳細情報があることを意味しています。

ログ			
<div> <div>ログ</div> <div> <div>ログ</div> <div>システム</div> <div>ネットワーク</div> <div>イベント</div> <div>ビデオ</div> <div>音声</div> </div> </div>			
日付	時間	メッセージ	20ページ
2015/01/28	14:00:08	手動バックアップ開始 (admin)	
2015/01/28	13:58:26	外部装置追加 (USBF-A)	
2015/01/28	13:58:09	録画停止 (admin)	
2015/01/28	13:58:09	ユーザーログイン (admin)	
2015/01/28	13:57:07	ユーザーログアウト (USER)	
2015/01/28	13:53:57	切断 (172.16.0.199)	
2015/01/28	13:47:13	ユーザーログアウト (USER)	
2015/01/28	13:44:59	ライブ (172.16.0.199 ADMIN)	
2015/01/28	13:44:58	切断 (172.16.0.199)	
2015/01/28	13:44:49	ライブ (172.16.0.199 ADMIN)	
2015/01/28	13:44:48	切断 (172.16.0.199)	
2015/01/28	13:44:45	切断 (172.16.0.199)	

 アイコンを左クリックするか、リモコンで  アイコンの行を選択し **INFO** ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

ログ			
<div> <div>ログ</div> <div> <div>ログ</div> <div>システム</div> <div>ネットワーク</div> <div>イベント</div> <div>ビデオ</div> <div>音声</div> </div> </div>			
日付	時間	メッセージ	20ページ
<div> <div>ログ情報</div> <div> <div>ログ情報</div> <div>時間</div> <div>メッセージ</div> <div>期間</div> <div>ユーザー</div> <div>チャンネル</div> </div> </div>			
時間	2015/01/28 14:00:08		
メッセージ	手動バックアップ開始		
期間	2015/01/28 13:54:00 ~ 2015/01/28 13:58:00		
ユーザー	admin		
チャンネル	4		
2015/01/28	13:44:58	切断 (172.16.0.199)	
2015/01/28	13:44:49	ライブ (172.16.0.199 ADMIN)	
2015/01/28	13:44:48	切断 (172.16.0.199)	
2015/01/28	13:44:45	切断 (172.16.0.199)	

VIII バックアップ

1 手動バックアップ

手動バックアップは、USB メモリー、USB HDD に、録画映像をバックアップすることができます。

1. バックアップ先のデバイス (USB メモリー、USBHDD) がフォーマットされていない場合は、「ディスク」メニューからフォーマットしてください。 参照 → 57 ページ
2. メインメニューで「バックアップ」を選択するか、リモコンの **BACKUP** ボタンを押すと、「バックアップ」ウィンドウが表示されます。



それぞれの項目を指定します。項目の詳細は次表の通りです。

項目	説明
デバイス	バックアップ先のポートと機器を左クリックか + - ボタンで選択します。ここで選択可能な選択肢の数は、本機に接続された記憶装置の状態によって異なります。(上図の例では、前面パネルの USB ポートに接続された 16GB のデバイスを示しています。)
チャンネル	バックアップ対象に含める録画チャンネルを選択します。
選択	全データ ：連続録画とイベント録画の両方をバックアップ対象に含めます。 イベントのみ ：イベント録画のみ、バックアップ対象に含めます。
ファイル	<ul style="list-style-type: none"> ● 専用形式と MCDPLAYR 本機の独自フォーマットで、専用再生ソフトウェア「McdPlayer」と共にバックアップします。(遠隔監視ソフトがないパソコンで再生する場合はこちらを選択します) ● 専用形式 本機の独自フォーマットで、専用再生ソフトウェアをインストールすることなくバックアップします。(遠隔監視ソフトを持ったパソコンまたは本機の同型機で再生する場合は、こちらを選択することもできます。) ● AVI Windows 標準の AVI 形式でバックアップします。再生には Windows Media Player 等、汎用のソフトウェアが利用できます。
期間	バックアップの開始日時と終了日時を指定します。
動作	開始 ボタンで、指定された条件でバックアップを開始します。ボタンの右側には進捗が表示されます。

3. 最後に **開始** ボタンを押すと、バックアップが始まります。

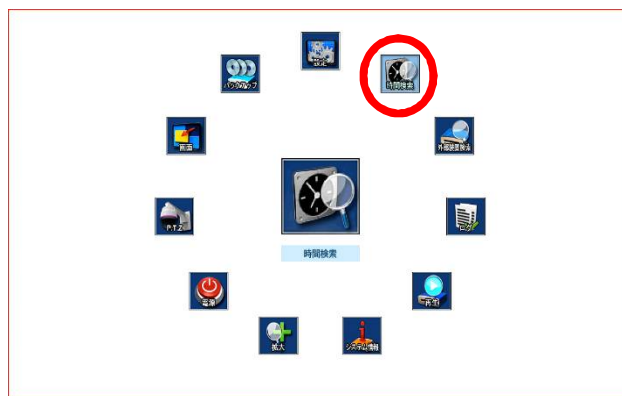
<注意>

- バックアップ中は USB コネクタからバックアップ媒体（USB メモリ, USB HDD）を抜かないでください。
- USB ハブは使用しないでください。
- 手動バックアップ中に、他の操作をすることは出来ません。
- AVI 形式でバックアップした映像は、解像度によっては縦横比が正しく再現されないことがあります。特に 2CIF（720×240）の場合、極端に横長の映像になりますのでご注意ください。
- バックアップ作業に要する時間は、録画設定、バックアップする時間の範囲とチャンネルの範囲、バックアップ媒体の種類等により大きく変化します。
- バックアップ時に同時インストールされる専用形式用の再生ソフトウェア（MCDPlayer）は 1 時間以内程度の比較的短い時間の映像を再生するための簡易的なものです。長時間のバックアップデータを再生したい場合は本機の外部装置検索機能（EXT-SEARCH）から再生してください。
- PC で再生することを前提に専用形式で長時間バックアップをしたい場合は、1 時間分ずつ複数回に分けて手動バックアップを繰り返してください。
- 直前 20 分以内のデータは時間検索グラフが表示されていても「ファイルがありません」と表示されバックアップができない場合があります。その場合は暫く待つか一旦録画を停止してからバックアップ操作を行うことでバックアップできるようになります。

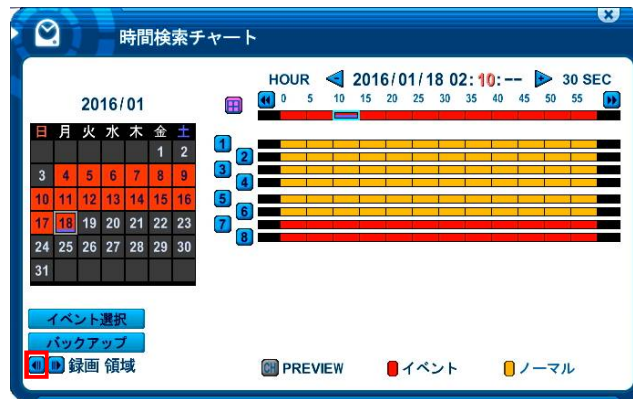
1 バックアップ期間の簡単な指定方法

上記の手動バックアップで、「期間」は直接数字ボタンで入力できますが、**BACKUP** ボタンで「バックアップ」ウインドウを表示したときに、最初に表示させる「期間」を簡単に指定することができます。

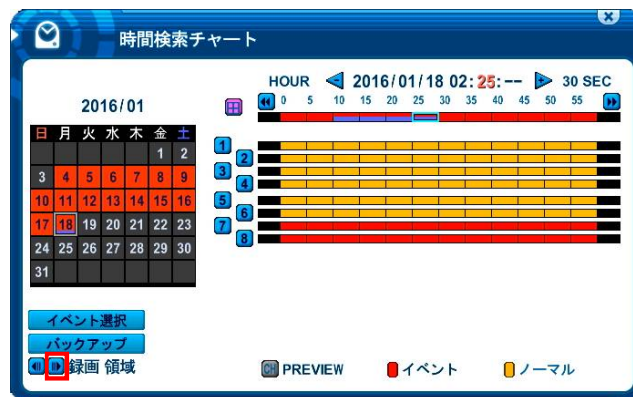
1. メインメニューで時間検索を選択するか **① TIME SEARCH** ボタンを押します。



2. 「時間検索」ウインドウ内でカーソルを動かし、バックアップ開始位置で **▶** または **◀** ボタンを押すと、押した位置が紫色に変化します。



3. 次に、バックアップ終了位置にカーソルを移動して または ボタンを押すと、開始位置と終了位置の範囲が紫色になります。

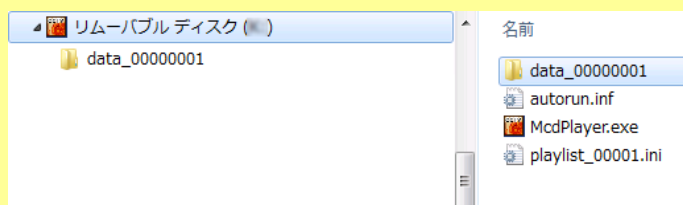


4. この状態で **バックアップ** ボタンを押すと、「バックアップ」ウインドウが開きます。
5. 開いた「バックアップ」ウインドウの「期間」の項目に「時間検索」ウインドウで指定した期間が反映されます。



<注意>

- USB 機器にバックアップする場合のフォルダ構成は下図の例のようになります。



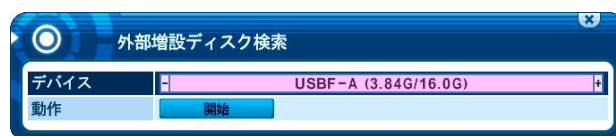
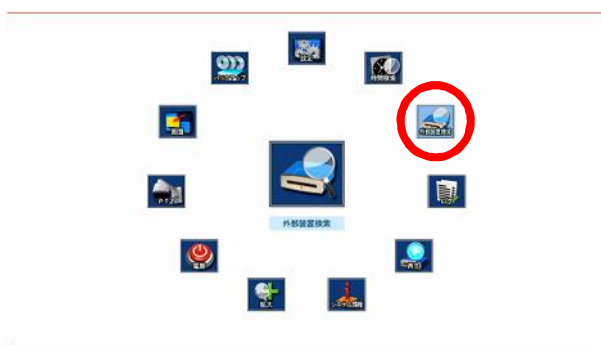
バックアップデータが保存されるフォルダ “data_*****” 内のファイルは、ファイル名を見ただけでは直接録画された日時を知ることはできません、再生するには Windows パソコンで “McdPlayer.exe” を実行してください。

- 手動バックアップは、指定された日時の範囲より数分程度長めに保存されることがあります。

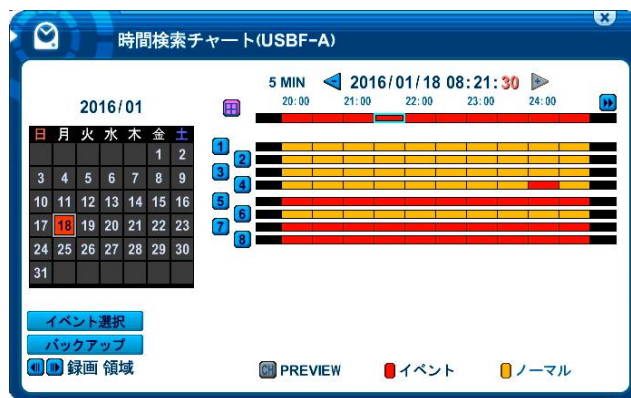
2 手動バックアップデータの本機での再生

本機で手動バックアップした内蔵ドライブまたはUSBデバイスのデータで「専用形式とMCDPLAYR」または「専用形式」としてバックアップされたものは本機で再生することができます。

1. 再生したい USB デバイスを本機の USB ポートに接続します。
2. メインメニューから **外部装置検索** を選択すると、「外部増設ディスク検索」ウインドウが表示されます。リモコンの場合は **Ⓢ EXT-SEARCH** ボタンを使うこともできます。



3. **+** **-** ボタンで検索対象とする内蔵ドライブまたは USB デバイスを選択し **OK** ボタンを押すと、時間検索ウインドウが表示されます。



<注意>

本機の専用形式で USB デバイスにバックアップした映像は、EMS2 または MCDPlayer を利用して Windows パソコンで再生することができます。EMS2 がインストールされていないパソコンでの再生が想定される場合は、バックアップ時に「ファイル」の欄で「専用形式と MCDPLAYER」を選択して USB デバイスに「MCDPlayer」がインストールされるようにしてください。

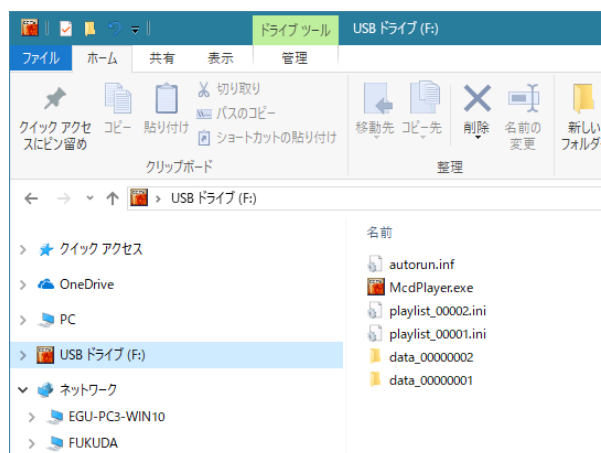
3 専用形式バックアップデータのパソコンでの再生

本機で手動バックアップした専用形式のデータを Windows のパソコンで再生するには「MCDPlayer」を使用します。

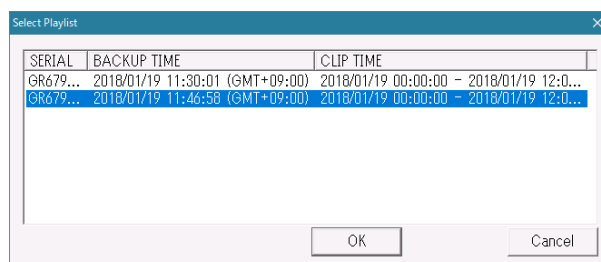
MCDPlayer は手動バックアップ時に「ファイル」の項目で「専用形式と MCDPlayer」を選択するとバックアップ先のメディアにインストールされます。

再生は、次の手順でおこないます。

1. パソコンに USB メモリーを接続する
パソコンの USB ポートに USB メモリーを差し込みます。
2. エクスプローラで USB メモリーのドライブを開く
エクスプローラで、USB メモリーのドライブを開きます。

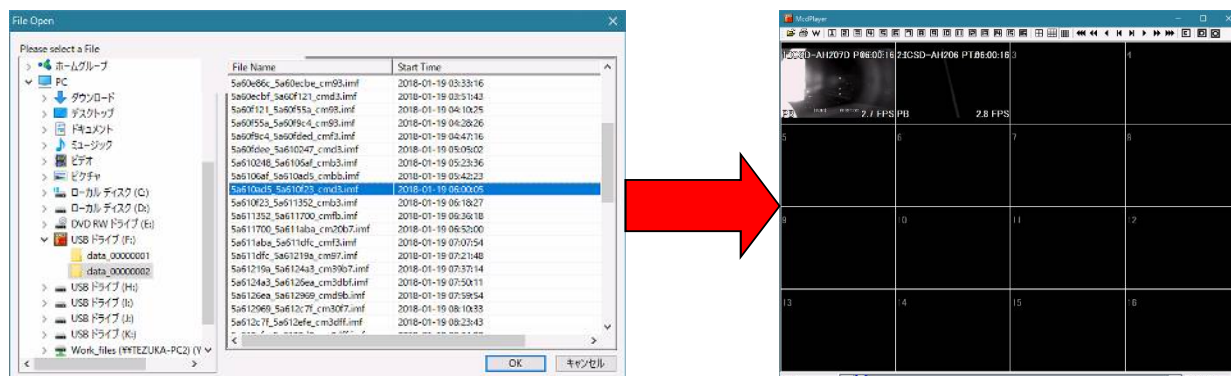


3. MCDPlayer を起動する
「MCDPlayer.exe」はオレンジ色のアイコンです。
4. Playlist を選択する（バックアップ回数が 1 回の場合省略）
「Select Playlist」ウインドウが開いたら「CLIP TIME」の項目で日時を確認して選択してから **OK** ボタンを左クリックします。

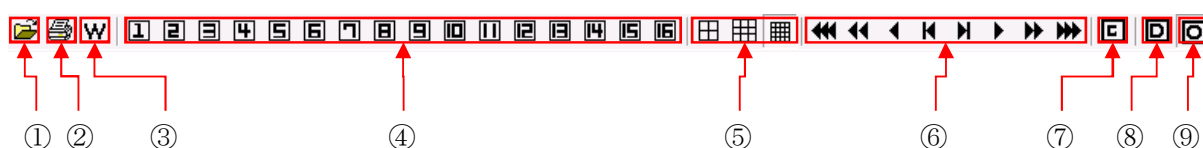


5. 再生開始ファイルを選択し再生を開始する

「Start Time」の列に表示される日時で再生を開始したい日時を確認してから、そのファイルを選択して **OK** ボタンを左クリックします。



「MCDPlay」のツールバーのアイコンは次のように機能します。



番号	名称	
①	開く	手動でファイルを開きます。
②	印刷	現在表示されている映像のキャプチャーを印刷します。(確認なし)
③	改ざん確認	現在表示されている映像のファイルが改ざんされていないことを確認します。
④	1 画面表示	ボタンの数字のチャンネル番号で 1 画面表示に切り替えます。
⑤	分割表示	ボタンに表示されている分割方法で分割表示に切り替えます。
⑥	再生制御	再生方向や再生スピードを切り替えます。
⑦	キャプチャー	現在表示されている映像をキャプチャーして映像を確認してから印刷またはファイル保存を実行できます。
⑧	< 予定機能 >	
⑨	< 予定機能 >	

2 自動バックアップ(FTP)

本機は、録画された映像データを外部の FTP サーバに自動的に転送することができます。

- メインメニューで「バックアップ」を選択するか、リモコンの **BACKUP** ボタンを押すと、「バックアップ」ウインドウが表示されます。
- タブを左クリックするかリモコンの **◀ ▶** (左右) ボタンで **自動バックアップ** タブを選択します。

項目	説明
デバイス	FTP のみ選択可能です。右側の 設定 ボタンで「FTP 設定」ウインドウが開きます。
期間	1 日の中で自動バックアップの対象とする時刻の範囲を指定できます。
動作	開始 ボタンを押すと、指定された条件でバックアップを開始します。ボタンの右側には進捗が表示されます。

3. **設定** ボタンを押すと、「FTP 設定」ウインドウが開きます。「FTP 設定」では、接続先 FTP サーバに関する設定ができます。

項目	説明
サーバー	接続先 FTP サーバの IP アドレスまたはホスト名・ドメイン名を入力します。(最大 49 文字)
ポート設定	接続先 FTP サーバのサービスポート番号を指定します。一般的には「0021」です。
認証	オン：接続先 FTP サーバが認証を必要とする場合には“オン”を選択します。 オフ：接続先 FTP サーバが認証を必要としない場合は、“オフ”を選択します。
ユーザーID	接続先 FTP サーバのログイン ID を入力します。 利用可能な文字：最大 26 文字までの半角英数
パスワード	接続先 FTP サーバのログインパスワードを入力します。 利用可能な文字：最大 26 文字までの半角英数
接続	FTP 接続モードを指定します。 アクティブ：アクティブモードで FTP サーバに接続します。 パッシブ：パッシブモードで FTP サーバに接続します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><情報></p> <p>本機が、ネットワークアドレスポート変換 (NAPT ルータ等) の内側 (LAN 側) にあり、FTP サーバが外側 (WAN 側) にある場合には、パッシブモードの利用をお勧めします。</p> </div>
バックアップ先フォルダ	FTP サーバのバックアップフォルダ (ディレクトリ) を指定します。(最大 25 文字)
テスト	開始 ボタンで、FTP サーバとの通信テストを実行します。結果はボタ

	<p>ンの右側に次のように表示されます。</p> <p>正 常：正常に接続できた場合。</p> <p>ログイン失敗：ユーザーID またはパスワードが間違っている場合。</p> <p>時 間 超 過：サーバに接続できず、タイムアウトした場合。</p>
--	--

<注意>

- バックアップされたファイルを FTP サーバ側で再生するには、MCDPlayer または遠隔監視ソフトウェア“EMS2”の APP バージョン 1.4.19.3 より新しいバージョンの「ツール」メニューから「ファイル再生」を実行してください。
- 本機または EMS2 の自動バックアップ・予約バックアップ機能を使用される場合、想定される使用条件下においてネットワークの転送レートが録画レートを下回らないように十分ご注意ください。特に、複数のネットワーク接続が想定される場合は、録画設定に十分な余裕を持たせるようにしてください。
- 本機に対して EMS の予約バックアップ機能は使用できません、EMS2 をご使用ください。
- インターネットを経由して自動バックアップを実行する場合、途中の通信事情によって安定なバックアップができないことがあります。この機能は回線状態を管理可能な 100Mbps 以上の LAN 内での使用を推奨いたします。

3 ログリストのバックアップ

本機のログリストは、USB 接続された記憶装置にバックアップすることができます。

1. 本機の USB 端子に記憶装置 (USB メモリまたは USB HDD) を接続します。
2. メインメニューでログを選択するか、リモコンの **LOG** ボタンを押して、ログリストを表示します。
3. マウスの場合「ログ」ウインドウ左上のアイコンを左クリックします。リモコンの場合は **BACKUP** ボタンを押します。



4. 「ログバックアップ」ウインドウが表示されます。



項目	説明
デバイス	ログリストをバックアップするバックアップ先を左クリックするカリモコンの <input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/> ボタンで選択します。
種類	バックアップするログの分類を以下の 5 種類から選択します。 全 て ：全てのログをバックアップします。 シ ス テ ム ：システムに関するログをバックアップします。 ネ ッ ト ワ ー ク ：ネットワークアクセスに関するログをバックアップします。 イ ベ ン ト ：イベント録画に関するログをバックアップします。 映 像 損 失 ：ビデオロスに関するログをバックアップします。
期間	バックアップするログの期間を選択します。
動作	<input type="button" value="開始"/> ボタンでバックアップを開始します。ボタンの右側に「完了」と表示されたら、バックアップ完了です。

<注意>

- ログのバックアップ時には USB アイコンの色は変化しません。「動作」欄の「完了」表示を確認後に USB コネクタを抜くようにしてください。
- イベント録画をしている場合等、大量のログ情報が記録されている場合はログバックアップに数時間程度の長い時間を要する場合があります。

IX 仕様

機種名	PDR-AHD2104 (4 チャンネル機)	PDR-AHD2108 (8 チャンネル機)	PDR-AHD2116 (16 チャンネル機)
接続端子			
入力映像信号方式	NTSC, AHD(720p/30FPS, 1080p/30FPS)		
映像入力	4ch BNC	8ch BNC	16ch BNC
映像出力	HDMI, VGA 800×600 (f _H =38KHz) 1024×768 (f _H =48KHz) 1280×720 (f _H =45KHz) 1280×1024 (f _H =64KHz) 1920×1080i (f _H =34KHz) 1920×1080p (f _H =67KHz)		
音声入力／出力	4／1		
アラーム入力／出力 (リレー)	4／1		
シリアルポート	RS422		
USB ポート	USB2.0 ポート 2 系統 (前面×1／背面×1)		
録画			
映像圧縮	H.264		
最大録画フレーム数 (1 秒あたり)	60fps 1920×1080 120fps 1280×720 120fps 960×480 120fps 720×480 120fps 720×240 120fps 360×240	120fps 1920×1080 240fps 1280×720 240fps 960×480 240fps 720×480 240fps 720×240 240fps 360×240	240fps 1920×1080 480fps 1280×720 480fps 960×480 480fps 720×480 480fps 720×240 480fps 360×240
録画モード	連続／スケジュール／イベント (モーション、アラーム)		
録画画質	超高画質／高画質／中画質／低画質 (4 段階)		
事前録画	1～5 秒		
事後録画	5～300 秒		
モーション 検出エリア	チャンネル毎に横 8×縦 8		
再生			
検索モード	日時, カメラ, アラーム／モーション／ビデオロス, モーションエリア		
再生モード	正逆方向 (コマ送り, 通常速度, 2 倍速, 4 倍速, 8 倍速, 16 倍速) 及び一時停止		
録画・バックアップ			
内蔵 HDD	1 (SATA)		
外付 HDD	e-SATA (録画用) ×1／USB (バックアップ用) ×1		
バックアップ方法	USB フラッシュメモリー／USB HDD／ネットワーク		
画面表示			
ライブ表示速度	リアルタイム表示		
画面分割数	1, 4	1, 4, 6, 7, 8, 9	1, 4, 6, 7, 8, 9, 10, 13, 16
デジタルズーム倍率	2, 4, 8※		

ネットワーク	
画像圧縮方式	H.264/JPEG
ユーザー数	管理者×1 + ユーザー×10
遠隔監視ソフトウェア	PC 用クライアントソフトウェア(Windows、Mac、Linux)、ブラウザ(Windows IE)、Mobile Phone(Android, iOS 用アプリ)
通知機能	電子メール
ネットワークプロトコル	TCP/IP, SMTP, DHCP, DDNS, UpnP
その他	
オペレーティングシステム	組込型 Linux
操作方法	マウス, 赤外線リモコン, 遠隔監視ソフトウェア
画質調整	各映像入力毎に輝度, コントラスト, カラー (色相) , 彩度
停電復旧後動作	録画自動再開
ログ	システム及びイベント
ウォッチドッグ	自動再起動
外形寸法	300(幅)× 46.3(高) × 215(奥行) [mm]
電源	本体 : DC12V 5A AC アダプター入力定格 : AC100～240V 50～60Hz 1.62A 130～170VA
動作温度/湿度範囲	5℃ ～ 40℃/30 ～ 80% RH

X 付録

1 録画可能日数の計算

本機のおおよその録画可能日数は、付属 CD-ROM に収録されている HDD Calculator を使用して計算することが出来ます。HDD Calculator は Windows のパソコンにインストールしてご使用ください。HDD Calculator の画面では、次の順に項目を選択してご使用ください。

① Model

DVR の機種を選択します。PDR-AHD2100 シリーズの場合チャンネル数に合わせて **“H.264 AHD Standard 4CH PLUS”** **“H.264 AHD Standard 4CH PLUS”** **“H.264 AHD Standard 4CH PLUS”** から一つをを選択してください。

② Video Stantard

ビデオモードを選択します。日本国内での一般的な設定では **“NTSC”** を選択してください。

参照 → 80 ページ

③ Select Channel

本機の場合は変更は出来ません。①で選択したチャンネル数と同じチャンネル数が表示されていることを確認してください。

④ HDD Size

本機に搭載されている HDD の容量を指定します。ここでは選択ボタンによって容量をドロップダウンリストから選択する方法と直接入力する方法から選択できます。

“④a” を選択した場合はドロップダウンリストから容量を選択できます。

“④b” を選択した場合は直接入力できます。ドロップダウンリストに選択肢が無い場合にご利用ください。

<注意>

- ドロップダウンリストの変更及び容量の入力は、必ず選択ボタンを変更した後におこなって下さい。
- ④bを選択した場合、容量を入力した後に **Calculate** ボタンを押してください。

⑤ 名称なし（「使用」チェックボックス）

本機の録画設定の **デイ** タブまたは **ナイト** タブで「使用」をチェックしているチャンネルと同じチャンネルをチェックします。 **参照**→**47 ページ**

⑥ Resolution

本機の録画設定の **モード** タブで選択した各チャンネルの解像度に合わせて各チャンネルの解像度を選択します。 **参照**→**45 ページ**

⑦ Quality

DVR の録画設定の **デイ** タブまたは **ナイト** タブで選択した画質に対応する各チャンネルの画質を選択します。日本語で表示される DVR の画質設定と、英語で表示される HDD Calculator 画質設定は次表のように対応します。 **参照**→**47 ページ**

DVR の表示 (日本語)	HDD Calculator の表示 (英語)
超高画質	SUPER
高画質	HIGH
中画質	MID
低画質	LOW

⑧ FPS

DVR の録画設定の **デイ** タブまたは **ナイト** タブで選択した F/S に対応する各チャンネルの FPS を選択します。 **参照**→**47 ページ**

⑨ Audio

DVR の録画設定の **デイ** タブまたは **ナイト** タブで選択した音声オン／オフに対応する各チャンネルの Audio のを ON / OFF を選択します。 **参照**→**47 ページ**

⑩ Data / Hour

1 時間あたりの各チャンネルのおおよその HDD 使用量を表示します。

⑪ Data / Day

1 日あたりの各チャンネルのおおよその HDD 使用量を表示します。

⑫ Data / Hour

1 時間あたりの全チャンネルのおおよその HDD 使用量を表示します。

⑬ Data / Day

1 日あたりの全チャンネルのおおよその HDD 使用量を表示します。

⑭ HDD Size

④で選択または入力した HDD の容量を確認のために表示します。

⑮ Full Recording Day

おおよその録画可能期間を日数で表示します。

⑯ Full Recording Time

おおよその録画可能期間を時間数で表示します。


<注意>

各カメラの解像度、フレーム数、画質の設定は“Encoding Cost Limit”の左側の数値が右側の数値を超えない範囲で調整してください。左側の数値が右側の数値を超えるような設定は DVR に適用することが出来ません。

2 故障かな？と思ったら

本機の正常な動作で、故障と勘違いしやすい現象を以下にまとめています。以下の表をご覧ください問題が解決できない場合には、お買い求めの販売店または弊社にお問い合わせください。

現象	確認事項	対処法
シャットダウンしたけど電源が切れない	本機には、背面パネルに主電源スイッチがあります。	リモコンには、電源ボタンがありますが、これは本機を、電源を切っても良い状態にするためのものです。 「電源アダプターを DVR から外してください」が表示されたら背面パネルの電源スイッチを切ってください。 <注意> 「電源アダプターを DVR から外してください」表示が出る前やシャットダウン操作をする前に電源を切らないでください。
時刻同期サーバの設定をしても時刻同期出来ない	ネットワーク関連の設定は正しく設定されていますか？	時刻同期機能はネットワーク接続(公開 NTP を使用する場合はインターネット)が正しく設定されていないと利用できません。ネットワーク設定をご確認ください。
電子メール通知機能を設定したが電子メールが送信されない。	ネットワーク関連の設定は正しく設定されていますか？	電子メール通知機能はインターネット接続が正しく設定されていないと利用できません。ネットワーク設定をご確認ください。
モーション録画が出来ない	モーション録画をするには「カメラ」設定と「録画」設定の両方を設定しましたか？	モーション録画をするにはそれぞれのチャンネルについて以下の設定をする必要があります。 1. 「カメラ」設定で「エリア設定」を設定する。 参照→40 ページ 2. 「録画」設定の デイ 及び／または ナイト タブで「イベント」列の録画設定をする。 参照→47 ページ 3. 「録画」設定の デイイベント 及び／または ナイトイベント タブで、モーション検出チャンネルと録画チャンネルを対応付けする。 参照→49 ページ

現象	確認事項	対処法
バックアップが出来ない	<ul style="list-style-type: none"> ● バックアップ先メディアがフォーマットされていますか？ ● バックアップ先メディアに十分な空き容量がありますか？ 	メディアをフォーマットしてください。 参照 →57 ページ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <注意> フォーマットすると、そのメディアの全てのデータが失われます。大切なデータは必ず他のメディアにコピーしてください。 </div>
	バックアップ範囲の日時は適切ですか？	バックアップする日時の範囲を正しく設定してください。
日時設定（時計合わせ）が出来ない。	録画中ではありませんか？	本機は録画中に日時設定をすることは出来ません。一旦録画を停止してから日時を修正後に録画を再開してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <注意> 日時を修正することによって、録画されたデータに日時の重複が発生してしまった場合、重複した範囲は正常に再生出来なくなります。 </div>
特定のカメラのライブ映像が映らない	「システム」メニューの ユーザー設定 タブ内で視聴可能なチャンネルを制限していませんか？	管理者またはそのチャンネルの視聴権限のあるユーザーでログインしてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <注意> ログアウトした状態では全てのユーザーに共通に許可されているチャンネルだけを見る事ができます。 </div>
画面の隅にあるアイコンやツールバーの表示が画面からはみ出る。	お使いのモニターにアンダースキャンモードがありますか？	お使いのモニターにアンダースキャンモードがある場合は、アンダースキャンモードでお使いください。 お使いのモニターにアンダースキャンモードがない場合は、本機の画面設定で「オーバースキャン」を選択することで、アイコンやツールバーの位置を少し内側に表示させることができます。 参照 →35 ページ 
「新しい HDMI モニターを見つけました.再起動後,適用されます。」メッセージが表示される。	HDMI 端子に新たにモニターを接続しませんでしたか？	HDMI 出力の解像度自動設定機能が動作しました。メッセージは CANCEL/ESC ボタンで消去できます。解像度の自動設定を適用する場合は本機を再起動してください。 今後、このメッセージを表示させたくない場合は、「デバイス」メニューで「HDMI 自動」のチェックを解除してください。 メニュー → 設定 → デバイス → 解像度 参照 →69 ページ

現象	確認事項	対処法
インターネット経由で “gr*****.dvrhost.com” のアドレスを使って本機に接続できない。 ※ “*****” は装置一台毎に異なる固有の番号です。	LAN ケーブルは接続されていますか？	本機の遠隔監視機能を使用するには、本機が TCP/IP ネットワークに接続されている必要があります。LAN ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
	IP 設定は正しく設定されていますか？	本機を TCP/IP ネットワークに接続して使用する場合、接続するネットワークに合わせて「LAN 設定」「IP アドレス」「ネットマスク」「ゲートウェイ」「第 1DNS サーバ」を設定していただく必要があります。具体的な設定値は接続するネットワークのネットワーク管理者にお尋ねください。なお、「第 2DNS サーバ」の登録は任意です。登録しない場合は「0.0.0.0」を入力してください。 メニュー→設定→ネットワーク→IP 設定 参照→61 ページ
	DDNS 設定は正しく設定されていますか？	本機にインターネット経由で “gr*****.dvrhost.com” のアドレスを使って接続可能にするには「DDNS 設定」で「デフォルト」を選択してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><情報></p> <p>DDNS 設定を完了した後に DVR を再起動すると、ホスト名が検索可能になるまでの時間を最大で 10 分程度短縮することができます。</p> </div>
EMS2 からのスケジュールダウンロードで完了しない時間帯が発生する。	ネットワーク機器の設定は正しく設定されていますか？	インターネット経由で本機の遠隔監視機能をご利用いただく場合、ルータのポートフォワーディング設定等のネットワーク機器の設定が必要になる場合があります。必要な設定は、使用されるネットワークのネットワーク構成や機器により異なりますので、ネットワーク管理者にお尋ねください。
	録画レートが速すぎませんか？	本機に対して EMS2 のスケジュールダウンロード機能をご使用になる場合、録画設定の モード タブ上の合計 F/S が 1280 を超えないように設定してください。 参照→45 ページ
	他のパソコンやスマートフォンから接続していませんか？	本機が使用するネットワークの帯域幅は、本機に接続する全ての機器で共有しています。EMS2 のスケジュールダウンロード機能を利用する場合は、他のパソコンやスマートフォンからのアクセスを、できるだけ控えるようにしてください。
USB デバイスにバックアップしようとしたら、結果に「データサイズオーバー」と表示される	USB ストレージデバイスの容量より大きい容量を指定していませんか？	バックアップする時間の範囲を短くしたり、不要なチャネルのチェックボックスを外したりしてデバイスに入る容量にしてやり直してください。そして、バックアップしきれなかった分は再度別のメディアに保存してください。

現象	確認事項	対処法
登録している DDNS サイトから期限切れを警告する電子メールが届いた。（「NO-IP」または「DynDNS」の場合）	電子メールに記された残り日数と電子メールが送信された日時を確認してください。	期限切れ前の場合は、 設定 → ネットワーク メニュー内の DDNS タブの アップデートテスト ボタンを押して「成功」と表示されることを確認してください。 既に期限切れになってしまっている場合や上記の操作で「DNS 無し」と表示されるような場合、パソコンで DDNS サイトにログインして、サイトの指示に従ってホスト名の登録をやり直す等してください。 参照 → 65 ページ
カメラ設置時ライブ画面右上の解像度アイコンに「1080p」または「720p」と表示されているのに映像が表示されない。	カメラのビデオモードが DVR のビデオモードと合っていますか？	本機と弊社製 AHD カメラのビデオモードは工場出荷時「NTSC」に設定されていますが、カメラの設定ノブを誤って操作すると稀に PAL モードになる事があります。その場合は、カメラの設定ノブを印刷の表示に従って [DOWN] 方向に 4 秒間長押しして NTSC モードに戻してください。
再生中に「最後の録画映像です」と表示されたウインドウが現れ停止操作が出来ない。	「最後の録画映像です」ウインドウを閉じましたか？	本機は、再生中に最も新しい録画映像の再生を終えて再生する映像がなくなると「最後の録画映像です」ウインドウを表示します。 この状態で STOP (■) ボタンを押しても再生を停止できません。一旦 CANCEL/ESC でこのウインドウを閉じてから STOP (■) 操作をしてください。

3 カメラ—録画解像度対応表

DVR に接続されたカメラの種類と録画解像度の設定に対する、実際の録画解像度の関係は下表のようになります。

録画解像度	カメラの種類		
	AHD 2.0 (1080p)	AHD 1.0 (720p)	SD (NTSC)
360×240	360×240	360×240	360×240
720×240	720×240	720×240	720×240
720×480	720×480	720×480	720×480
960H	960H	960H	960H
720P	720P	720P	720×480
1080P	1080P	720P	720×480
AUTO	1080P	720P	720×480

輸入卸元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3249-1

TEL: 0985-55-0752

FAX: 0985-55-0815

<http://www.interluck.co.jp>

問い合わせ先販売店